

【令和7年度 芸西村立芸西小学校】 第1学年 生活科年間指導計画

	○単元名 ・学習活動 (内容) (時数)	各教科等との関連 内容 ★能力	外部との連携 (人・もの・こと)
4	○どきどき わくわく 1ねんせい 内容(1)(8時間) ・がっこうの いちにち ・はじめまして ともだち ・はじめまして きょうしつ ・はじめまして がっこう ・がっこうって たのしいな ・つながる ひろがる「あたらしい がくしゅう たのしみだな。」	【国語】 よろしくね ★ 伝え合うために必要なことを選び、自己紹介を友だちと楽しむことができる。 【国語】 なんていうのかな ★ 人と関わるときに大切な言葉を知り、使うことができる。 【算数】 なかまづくりかず ★ 数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目し、1つの数を他の2つの数の和や差としてとらえ、言葉や玩具体物などを用いて、表現したりしている。	家庭 (保護者・兄・姉) 2年生 教職員
5	○がっこう だいすき 内容(1)(12時間) ・ともだちと がっこうを たんけんしよう ・がっこうに いる ひとと なかよく なるよう ・がっこうで みつけた ことを つたえよう ・みんなで つうがくろを あるこう	【国語】 みんなにはなそう ★ 紹介したい事柄を決め、相手に聞こえるように話すことができる。 【国語】 こんなことしたよ ★ 語と語や文と文の続き方に注意し、経験したことを伝える文章を書くことができる。	家庭 (保護者・兄・姉) 通学路 西分公園
6	○なつがやってきた内容(4,5,6)(8時間) ・こうていで くさばなや なつを さがそう ・こうえんで なつを さがそう ・みずで あそぼう ・あめあがりの こうていを たんけんしよう ・なつの ことを つたえよう	【算数】 あわせていくつ ふえるといくつ ★ 加法の意味に着目し、合併や増加などの場面を加法の式に表し、その計算の仕方を1位数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	幼稚園年長児交流① (年長児と作ったおもちゃで交流する)
7	○はなを さかせよう 内容(7)(8時間) ・たねを まこう ・はなを そだてよう ・はなの ようすを つたえよう ・たねをとろう	【算数】 のこりはいくつ ちがいはいくつ ★ 減法の意味に着目し、求残や求補、求差などの場面を減法の式に表し、その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	幼稚園年長児交流② (年長児と作り直したおもちゃで交流する)
9	○いきものと なかよし内容(7)(6時間) ・むしを さがそう ・むしと なかよく なるよう	【国語】 えいっきをかこう ★ 経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	
10	○なつがやってきた内容(4,5,6)(8時間) ・こうていで くさばなや なつを さがそう ・こうえんで なつを さがそう ・みずで あそぼう ・あめあがりの こうていを たんけんしよう ・なつの ことを つたえよう	【算数】 のこりはいくつ ちがいはいくつ ★ 減法の意味に着目し、求残や求補、求差などの場面を減法の式に表し、その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	
11	○いきものと なかよし内容(7)(6時間) ・むしを さがそう ・むしと なかよく なるよう	【国語】 えいっきをかこう ★ 経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。	桜ヶ丘公園 保護者、地域の人
12	○たのしい あき いっぱい 内容(5,6)(20時間) ・こうていで あきを さがそう ・こうえんで あきを さがそう ・はっぱや みで あそぼう ・あきの ことを つたえよう ・あきの おもちゃを つくろう ・いっしょに あそぼう	【国語】 おもい出でかこう ★ 自分の思いや考えが明確になるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 【国語】 おもしろいことしようかいしよう ★ 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基いて、話す事柄の順序を考えることができる。 【行事】 小学校体験入学 ★ 新しい1年生の気持ちを想像し、新しい1年生との関わり方を考えることができる。	西分公園 通学路
1	○ふゆを たのしもう 内容(4,5,6)(5時間) ・こうていで ふゆを さがそう ・こうえんで ふゆを さがそう ・そとで あそぼう ・きせつの ことを つたえあおう ・むかしからつたわるあそびをたのしもう		芸西幼稚園年長児 保護者
2	○ふゆを たのしもう 内容(4,5,6)(5時間) ・こうていで ふゆを さがそう ・こうえんで ふゆを さがそう ・そとで あそぼう ・きせつの ことを つたえあおう ・むかしからつたわるあそびをたのしもう		
3	○もうすぐ 2ねんせい 内容(8,9)(17時間) ・あたらしい 1ねんせいを しょうたいしよう ・しょうたいした ことを はなしあおう ・1ねんかんを ふりかえろう ・おおきく なった じぶんを みつめよう		

生活科の内容項目
 (1)学校と生活
 (2)家庭と生活
 (3)地域と生活
 (4)公共物や公共施設の利用
 (5)季節の変化と生活
 (6)自然や物を使った遊び
 (7)動植物の飼育・栽培
 (8)生活や出来事の伝え合い
 (9)自分の成長

※年間を通して、更新（赤字）を実施。

単元名	どきどき わくわく 1ねんせい		教科書のページ	上 p.1～13
配当時数	8時間	活動時期	4月	学習指導要領の内容 (1)

単元の目標	学校生活に関わる活動を通して、幼児期の教育での経験を思い起こしながら、学校の中を歩いたり、友達と関わったりし、学校の施設の使い方や友達によさに気付くとともに、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとすることができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の使い方や友達によさに気付いている。	学校生活に関わる活動を通して、幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けている。	学校生活に関わる活動を通して、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
どきどき わくわく 1ねんせい ・幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けながら、学校の中を歩いたり、友達と関わったりする中で、学校の施設の使い方や友達によさに気付くとともに、友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、遊びや学習をしていこうとすることができるようにする。 p.4～9	8 +国語 4 2/3 (書写 2/3) +算数 2 +音楽 1 1/3 +図工 1 2/3 +体育 4 1/3 +道徳 1 +学活 5	はじめまして きょうしつ 1日目：学校生活の過ごし方や教室の使い方を考える。 2日目：自分の名前の周りに自分で絵を描いて名刺をつくり自己紹介をする。 3日目：校庭に出かけ、みんなで遊ぶ。 はじめまして ともだち 4日目：教室や校庭で遊んだりして、友達と関わる。 5日目：学校や校庭を歩いたり、生き物を探したりする。 6日目：学校生活について話したり、人数集めゲームをしたりする。 [知技] はじめまして がっこう 7日目：学校の中をみんなで歩いてめぐり、見付けた物を友達と話す。 8日目：学校をみんなで歩いたり、校庭で遊んだりして、見付けた物や遊んだことを絵に描く。	[知技] 学校の施設のそれぞれの目的・正しい使い方や、友達と関わるのが楽しいことに気付いている。 [思判表] 幼児期の教育で使っていた施設との共通点を見付けながら、学校の中を歩いている。 [態度] 友達や先生と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、安心して遊びや学習をしていこうとしている。

【人・もの・ことに関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
	スタートカリキュラムを意識して柔軟に動くことが大事である。	

単元名	がっこう だいすき		教科書のページ	上 p. 14～25
配当時数	12 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容 (1)

単元の目標	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
----	----	------	------

ともだちと がっこうを たんけんしよう			
<p>・学校のことを知りたいという思いをもち、自分の教室と比べながら学校を探検する中で、学校の施設の特徴に気付くことができるようにする。</p> <p>p. 16～17</p>	3 +国語 1	<p>①みんなで行った場所を思い出し、行きたい所を話し合う。</p> <p>②行きたい場所にみんなで行き、自分で学校の秘密を発見する。</p> <p>③見付けた物やこと、会った人について伝え合い、不思議に思ったことやもっと知りたいことを話し合う。</p> <p>④話し合ったことを確かめに、もう一度探検にでかける。</p>	<p>[知技] 学校の施設の特徴に気付いている。</p> <p>[思判表] 自分の教室と比べながら、学校の施設の特徴を探している。</p> <p>[態度] 学校のことを知りたいという思いをもち、行きたい場所を選んで探検しようとしている。</p>

がっこうにいるひとと なかよくなるろう			
<p>・自分との関わりを思い描きながら学校にいる人に話したり質問したりする中で、学校にいる人々の働きや役割に気付くとともに、ルールやマナーを守って探検しようとするができるようにする。</p> <p>p. 18～19</p>	4 +国語 1	<p>①教科書を見て、どんな人にどんなことを聞きたいか、みんなで話し合う。</p> <p>②聞くときに気を付けることを確認し、聞きに出かける。</p> <p>③分かったことや気付いたことをみんなで伝え合う。</p> <p>④もう一度、聞きに出かける計画を話し合い、知りたいことを聞きに出かける。</p> <p>⑤探検を振り返り、分かったことや気付いたことをみんなで伝え合う。</p>	<p>[知技] 学校にいる人々の働きや役割に気付いている。</p> <p>[思判表] 自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりしている。</p> <p>[態度] 学校の施設ごとの特徴に応じて、ルールやマナーを守って探検しようとしている。</p>

がっこうで みつけた ことを つたえよう			
<p>・学校の施設やそこにいる人々との関わりを意識しながら自分なりの方法で表現する中で、自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付くとともに安心感をもち、これからも遊びや生活を</p>	3 +国語 1	<p>①学校探検で見付けた人・物・ことの中から一番伝えたいことを決める。</p> <p>②伝えたいことを絵や文で表し伝える準備をする。</p> <p>③自分の決めた方法で発表し、発表した絵や言葉等を学校の絵地図に付け足す。</p>	<p>[知技] 自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付いている。</p> <p>[思判表] 学校の施設やそこにいる人々との関わりを意識しながら、自分なりの方法で表現している。</p> <p>[態度] 自分の学校生活がさまざまな人や施設に支えられ</p>

していこうとすることが できるようにする。 p. 20～21		④ 友達の話聞いて分かったこ とや気付いたことを話し合 う。	ていることに安心感もち、 これからも遊びや生活して いこうとしている。
みんなで つうがくろを あるこう			
・みんなで通学路を歩く 活動を通して、通学路の 様子や、安全を守ってい る施設や人々の存在に気 付くとともに、自分の登 下校が安全を守る人々や 施設に支えられているこ とを実感し、これからも 安全に登下校をしようと することができるように する。 p. 22～23	2	① 教頭先生などから学校の安全 についての話を聞き、通学路 にある、安全を守るための物 や人について話し合い、みん なで学校の周りを歩く計画を 立てる。 ② 学校周辺の通学路の1コース をみんなで歩き、気付いたこ とを話し合う。	[知技] 通学路の様子や、安 全を守っている施設や人々の 存在に気付いている。 [知技（習慣や技能）] 通学 路を歩く際、安全に気を付け て行動している。 [態度] 自分の登下校が、安 全を守る人々や施設に支えら れていることを実感し、これ からも安全に登下校をしよう としている。

【人・もの・ことの間連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
班ごとに出かけるのもいいが、行 きたいところをいくつか出し合 い、みんなで見に行ってもそれぞ れの発見があり、話し合うことで 気づくことも多かった。	ひらがなの読み書きが十分にでき ないこの時期の児童が、見つけた こと気づいたことを表す手段が限 定された。動画や写真で残す工夫 をしてみたらどうか。	

単元名	はなを さかせよう		教科書のページ	上 p. 26～37
配当時数	8時間	活動時期	5～9月	学習指導要領の内容 (7)

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にしようとするようにできるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
たねを まこう			
<ul style="list-style-type: none"> 花を咲かせたいという思いをもち、たねを観察したり比べたりしながら植物の特徴に気付くとともに、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとすることができるようにする。 <p>p. 28～29</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ① 幼児期の栽培経験を教え合い、教科書を見て植物の花を確認したり、実際にたねを観察したりしながら育てたい植物を決め、たねをまくために必要なことについて話し合う。 ② たねまきをした感想を友達や先生に話したりカードにかいたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> [思判表] 観察したり比べたりしながら、植物の特徴を探している。 [態度] 花を咲かせたいという思いをもち、植物に心を寄せ、大切に育てていこうとしている。
はなを そだてよう			
<ul style="list-style-type: none"> 幼児期や日常の経験を思い起こしたり、友達の育てている植物と比べたりしながら世話の仕方を決め、世話をする中で、自分の育てている植物が成長していることに気付くとともに、成長の様子に応じて、世話を工夫しようとするようにできるようにする。 <p>p. 30～31</p>	1	常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、成長の様子を観察したり、鉢の置き場所や水やりの仕方などを相談したりして世話を続ける。 <ul style="list-style-type: none"> ① 植物の世話をしている気付いたことを紹介し合い、よりよい成長のために必要なことについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> [知技] 自分の育てている植物が成長していることに気付いている。 [思判表] 幼児期や日常の経験を思い起こしたり、友達の育てている植物と比べたりしながら、世話の仕方を決めている。 [態度] 育てている植物の成長の様子に応じて、世話を工夫しようとしている。
はなの ようすを つたえよう			
<ul style="list-style-type: none"> 植物の成長の様子を予想しながら、開花への期待を話したりかいたりするとともに、自分が世話を工夫したことで自分の花が元気に育ち、花が咲いたことに気付くことができるようにする。 <p>p. 32～33</p>	2	常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、植物の世話を続けながら、成長の様子を観察する。 <ul style="list-style-type: none"> ①～② 咲いた花の写真を撮ったり、これまで撮りためた写真やカード、動画等を見たりしながら、開花の喜びを伝え合い、自分の世話を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> [知技] 自分が世話を工夫したことで、自分の花が元気に育ち、花が咲いたことに気付いている。 [思判表] 植物の成長の様子を予想しながら、開花への期待を話したりかいたりしている。

たねをとろう			
<p>・植物のたねを集めたり、栽培活動をまとめたりする中で、植物が一つのたねからたくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付くとともに、世話を続けられた自分の成長を実感し、植物に親しみや愛着をもち、これからも植物を育てようとするができるようにする。</p> <p>p. 36～37</p>	3	<p>常時活動 休み時間などを使って植物を観察し、たねを集める。</p> <p>①集めたたねを観察したり数えたりして、分かったことを紹介し合う。</p> <p>②これまでにかいた記録カードや撮った写真を活用して、これまでの栽培活動を振り返り、友達や先生と話す。</p> <p>③とったたねをどうするか話し合い、一人一人の思いに合わせて保存したり作品をつくらしたりする。</p>	<p>[知技] 植物が一つのたねからたくさんのたねを増やし、生命をつないでいることに気付いている。</p> <p>[態度] 世話を続けられた自分の成長を実感し、植物に親しみや愛着をもち、これからも植物を育てようとしている。</p>

【人・もの・こととの関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<p>朝顔がある程度成長し、（背比べができるくらい）その朝顔と写真を撮っておくと、最後の朝顔成長記録を作るときに表紙にできてよかった。</p> <p>種を使ってマラカスや太鼓を作ったり、つるでリースを作ったり、咲き終わった後も子ども達からアイデアが出て活用できてよかった。</p>	<p>種の採取時期が夏季休業中になったため、家庭に委ねることになったため、採取にばらつきがでた。家庭への呼びかけが必要。デジタルを利用した成長記録が残せたら良いと思う。</p>	

単元名	なつが やってきた			教科書のページ	上 p. 38～51
配当時数	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	(4) (5) (6)

単元の目標	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物をつくったりして、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、公共物や公共施設を安全に正しく利用しようとしたり、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしたりすることができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を全身で感じながら夏の自然を生かした遊びを楽しんでいる。	夏の自然と関わる活動を通して、公共物や公共施設を安全に正しく利用したり、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしたりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
----	----	------	------

こうていで なつを さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 校庭の自然に関わりたいたいという思いをもち、諸感覚を生かしながら、身近な自然との触れ合いを楽しむ中で、動植物や風、光など、校庭の自然の様子や特徴に気付くことができるようにする。 <p>p. 40～41</p>	2	<ol style="list-style-type: none"> 校庭で、動植物や風、光などを探したり、それらの様子を観察したりする。 草花や樹木を利用して遊びを工夫したり、遊びに使う物を工夫してつくったりして、気付いたことを、話したり見せたり記録カードにかいたりする。 	<p>[知技] 動植物や風、光など、校庭の自然の様子に気付いている。</p> <p>[思判表] 諸感覚を生かしながら、身近な自然との触れ合いを楽しんでいる。</p> <p>[態度] 校庭の自然に関わりたいたいという思いをもち、動植物や自然の特徴を探そうとしている。</p>

こうえんで なつを さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 公園の遊具や自然物を使ってみんなで遊ぶ中で、夏の自然の様子や、公園はいろいろな人が使う場所であることに気付くとともに、身近な公共施設の特徴に応じて、安全に気を付けながら正しく公園を利用しようとしすることができるようにする。 <p>p. 42～43</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ～②ルールやマナーを守りながら、学校と公園を往復したり、遊具や自然物を使ってみんなで遊んだりする。 教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて発表する。 	<p>[知技] 動植物や風、光など、夏の自然の様子や、公園はいろいろな人が使う場所であることに気付いている。</p> <p>[知技(習慣や技能)] 屋外での活動に際し、熱中症対策や手洗いなど、病気の予防に努めている。</p> <p>[態度] 身近な公共施設の特徴に応じて、安全に気を付けながら正しく公園を利用しようとしている。</p>

みずで あそぼう			
<ul style="list-style-type: none"> 夏の自然を生かして遊びたいという思いをもち、これまでの経験を基に自分のおもちゃの動きや遊び方を想像しながら、身近な自然や身近にある物を利用して遊ぶ中で、遊びを創り出すことの面白さに気付くとともに、粘り強く遊びを楽しむことができるようにする。 <p>p. 44～45</p>	2	<ol style="list-style-type: none"> これまでの水遊びの経験を教え合い、水を使った夏の遊びについて話し合ってから、友達と一緒に水を使った遊びを楽しむ。 水を使って遊んだり、遊びに使う物を工夫してつくったりして、みんなで遊ぶ。 	<p>[知技] 身近な自然や身近にある物を利用して、遊びを創り出すことの面白さに気付いている。</p> <p>[思判表] これまでの経験を基に、自分のおもちゃの動きや遊び方を想像しながら、遊んでいる。</p> <p>[態度] 夏の自然を生かして遊びたいという思いをもち、粘り強く遊びを楽しもうとしている。</p>

あめあがりの こうていを たんけんしよう			
<ul style="list-style-type: none"> 雨上がりの校庭に探検に出かけ、晴れの日と雨の日の自然の様子を比べながら、天候によって、身近な自然の様子に変化することに気付くことができるようにする。 <p>p. 46～47</p>	外	<ul style="list-style-type: none"> 雨上がりの自然との関わりを楽しむ。 晴れの日との違いから、雨上がりの自然の特徴について見つけたことを発表したり、記録カードにかいたりする。 	<p>[知技] 天候によって、身近な自然の様子に変化することに気付いている。</p> <p>[思判表] 晴れの日と雨の日の自然の様子を比べながら、雨上がりの校庭を探検している。</p>
なつの ことをつたえよう			
<ul style="list-style-type: none"> 夏の活動を振り返る中で、夏の自然の特徴を生かして遊ぶことの楽しさに気付くとともに、自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとすることができるようにする。 <p>p. 48～49</p>	1	<p>❶夏の活動を振り返り、グループごとに言葉や動作などでお薦めの遊びを紹介し合い、これからしてみたいことなどについて記録カードにかく。</p>	<p>[知技] 夏の自然の特徴を生かして遊ぶことの楽しさに気付いている。</p> <p>[態度] 夏の自然を生かして自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとしている。</p>

【人・もの・ことに関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎【効果的】	△【改良点】	関係している資料など
<p>五感を働かせて⑩、△、⑨、⑧、♡のマークを見せながら、自分が見つけたものを聞いていくと、意見が多く出た。</p>	<p>シャボン玉液を事前に準備しておく。</p> <p>たくさん遊んだ後、年長児を招待して夏の遊びを一緒にしてもいいのではないかと。</p> <p>暑い時期であるため、遮光ネット等を利用した熱中症予防が必要。</p>	<p>西分公園 幼稚園</p>

単元名	いきもの と なかよし			教科書のページ	上 p. 52～61
配当時数	6 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、それらの育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけることができ、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、身近な生き物の様子や特徴、生命をもっていることに気付いている。	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、生き物の育つ場所、動きや特徴に関心をもって働きかけている。	身近な環境にいる生き物を探したり観察したりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
----	----	------	------

むしを さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 幼児期やこれまでの経験を思い起こしながら、虫のいそうな場所を探す中で、虫の種類によって、育つ場所が異なることに気付くことができるようにする。 <p>p. 54～55</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ① 単元扉の写真を基に、校庭のどこに虫がいると思うか、これまでの経験を想起しながら伝え合い、実際に校庭に出て虫を探したり観察したりする。実際に見つけた虫についてマップに記す。 ② もう一度校庭で虫のいる場所を確かめたり、触ったりして、虫と仲良くなる方法について反し合う。 	<p>[知技] 虫の種類によって、育つ場所が異なることに気付いている。</p> <p>[思判表] 幼児期やこれまでの経験を思い起こしながら、虫のいそうな場所を探している。</p>

むしと なかよくなる			
<ul style="list-style-type: none"> 虫の動きや特徴に着目しながら、自分なりの方法で表現する中で、校庭の虫の様子や特徴に気付くとともに、それらに親しみをもち、これからは生き物を大切にしようとするができるようにする。 <p>p. 56～57</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ①～② 捕まえた虫と仲良くなるために、虫について調べたり、虫かごの環境を整えたり、一緒に遊んだりする。 ② 虫の動きや特徴について、友達と話したり動作化をしたりするなど、さまざまな方法で伝え合う。 ④ 自分の飼っている虫を年長児に紹介する。学習を振り返り、虫と仲良くなったことや世話が上手になった自分を振り返る。虫を元いた場所（捕まえた場所）に帰す。 	<p>[知技] 育てている虫に合わせて方法で世話をしている。虫の特徴や、生き物は生命をもっていることに気付いている。</p> <p>[思判表] 虫の動きや特徴に着目しながら、自分なりの方法で表現している。</p> <p>[態度] 生き物に親しみをもちたり、関りが増した自分を実感し、生き物を大切にしたり、関わったりしようとしている。</p>

どうぶつの せわを しよう			
<ul style="list-style-type: none"> 小動物が元気に成長できるように、小動物の立場に立って関わり方を見直しながら、適切な仕方では世話をするとともに、それらが生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。 <p>p. 60～61</p>	外	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の実態に応じて、一定期間、飼育環境を整えて動物を飼育し、観察する。 	<p>[知技] 小動物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。</p> <p>[思判表] 小動物の立場に立って関わり方を見直しながら、世話をしている。</p> <p>[態度] 小動物が生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。</p>

【人・もの・ことの間連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会わせ方】 など

◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<p>虫と仲良くなるイメージをウェブページを使って考えたことで、具体的にイメージしやすくなった。発見コーナーを作り、「自分が見て気が付いたこと」と「調べてわかったこと」を色を変えて書けるようにした。</p>	<p>学校で動物を飼育する機会を設けることができなかつたので、校外学習（のいち動物公園）において動物を観察したり触れ合ったりする機会を設定する。</p>	<p>のいち動物公園</p>

単元名	たのしい あき いっぱい		教科書のページ	上 p. 62～77
配当時数	21 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要領の内容 (5) (6)

単元の目標	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりすることができ、自然の様子や季節の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとするようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や季節の変化、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
こうていで あきを さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 校庭に出かけ、幼児期や日常の経験を思い起こしながら秋の自然の特徴を探し、色や形、におい、手触りなど、秋の校庭と夏の校庭との自然の様子の違いに気付くことができるようにする。 <p>p. 64～65</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ①～②校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、木の実などを使ってその場で友達と簡単な遊びをしたりする。 ③夏の頃の様子と比べて、変わっているところを話したり、見せたり、記録カードにかいたりする。 	<p>[知技] 色や形、におい、手触りなど、秋の校庭と夏の校庭との自然の様子の違いに気付いている。</p> <p>[思判表] 幼児期や日常の経験を思い起こしながら、秋の自然の特徴を探している。</p>
こうえんで あきを さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然の変化を予想しながら、夏の自然との違いを探し、身近な公園の自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付くことができるようにする。 <p>p. 66～67</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ①～②公園で秋を探すことについて話し合い、ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したりする。 ③教室に戻ってきて、公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて話したり、見せたり、記録カードにかいたりする。 	<p>[知技] 身近な公園の自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。</p> <p>[思判表] 秋の自然の変化を予想しながら、夏の自然との違いを探している。</p>
はっぱやみで あそぼう			
<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然物のよさや特徴を生かしながら遊んだり、遊びに使う物を選んだりする中で、葉や実など、秋の自然の特徴に気付くとともに、季節の特徴や自然の変化に応じて秋の遊びを楽しもうとすることができるようにする。 <p>p. 68～69</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ①～②秋の自然の中で遊ぶ活動について話し合い、秋の自然の中で遊んだり、葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをつくったりする。 ③秋の自然の中での遊びを振り返り、気付いたことを話したり、見せたり、記録カードにかいたりする。 	<p>[知技] 葉や実など、秋の自然の特徴に気付いている。</p> <p>[思判表] 秋の自然のよさや特徴を生かしながら遊んだり、遊びに使う物を選んだりしている。</p> <p>[態度] 季節の特徴や自然の変化に応じて、秋の遊びを楽しもうとしている。</p>

あきの ことをつたえよう			
<p>・秋の自然と関わった活動を振り返り、自分なりの秋のお薦めを選んだり伝えたりする活動を通して、季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとすることができるようにする。</p> <p>p. 70～71</p>	1	<p>①秋の自然の中で活動したことについて、これまでの表現作品や写真などを見返したり順序を考えたりしながら振り返り、秋のお薦めを選び、友達と紹介し合う。</p>	<p>[思判表] 秋の自然と関わった活動を振り返りながら、自分なりの秋のお薦めを選び、伝えている。</p> <p>[態度] 季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとしている。</p>
あきの おもちゃをつくろう			
<p>・秋の自然物を使って楽しく遊びたいという思いをもち、さまざまな自然物を比べたり試したりしながらおもちゃをつくる中で、自然の中に一定のきまりがあることに気付くとともに、粘り強くおもちゃをつくらうとすることができるようにする。</p> <p>p. 72～73</p>	7	<p>①秋のおもちゃをつくる活動について話し合い、校庭や公園などで集めた葉や木の実、身の回りから集めた材料を使って遊ぶ。</p> <p>②～⑤おもちゃや楽器を工夫して作りながら遊び、自分がつくったおもちゃや楽器を改良したり、つくるおもちゃを変えたりして楽しむ。</p> <p>⑥～⑦つくったおもちゃで友達と一緒に遊びながら、もっと楽しく遊べるように作り方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむ。</p>	<p>[知技] いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。</p> <p>[思判表] さまざまな自然物を比べたり試したりしながら、材料を選び、おもちゃをつくっている。</p> <p>[態度] 秋の自然物を使って楽しく遊びたいという思いをもち、粘り強くおもちゃをつくらうとしている。</p>
いっしょに あそぼう			
<p>・園児の気持ちを想像しながらつくったおもちゃで一緒に遊ぶ中で、自分が遊びを創り出したことでみんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付くとともに、これからも遊びを創り出そうとすることができるようにする。</p> <p>p. 74～75</p>	4	<p>①～②自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊ぶために話し合い、準備をする。</p> <p>③自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊びを楽しむ。</p> <p>④おもちゃをつくったことや遊んだことを振り返り、記録カードにかく。</p>	<p>[知技] 自分が遊びを創り出したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。</p> <p>[知技(習慣や技能)] みんなで創った遊びをする際に、遊びのルールを守っている。</p> <p>[態度] 自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。</p>

【人・もの・ことに関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎【効果的】	△【改良点】	関係している資料など
<p>年長児を招待するときには、自分の紹介したいものや遊ばせてあげたいものを選んでグループをつくった。自分たちで話し合い、看板を作ったり説明の仕方を考えたり意欲的に動いていた。</p>	<p>だんだんと秋が短くなっていて、教科書の時期とずれるので、計画立てて授業を行う必要がある。</p> <p>この単元からノートを使うようになったが、ワークシートとノートの併用がうまくできなかった。ノートの使い方を考えておく必要があった。</p>	<p>西分公園 桜が丘公園での案内 岡林さん</p>

単元名	じぶんで できるよ		教科書のページ	上 p. 78～85
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容 (2)

単元の目標	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人のよさ、自分でできることなどについて考え、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとするができるようになる。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどについて考えている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたり、実際に行ったりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
いえでの せいかつを みつめよう			
<p>・家の人の生活と比較しながら、自分の生活を見つめ直すことを通して、自分の生活リズムを整えようとするとともに、自分や家の人には、それぞれに果たしている仕事や役割があることに気付くことができるようにする。</p> <p>p. 80～81</p>	3	<p>①～②家庭で自分が毎日していることを調べたり、家の人の生活を見たり聞いたりして調べたことを基に、家庭での自分の1日の生活を振り返る。</p> <p>③ワークシートを基に、自分の生活の様子や家の人の生活を比べて気付いたことについて話し合う。</p>	<p>[知技] 家庭において、自分や家の人には、それぞれに果たしている仕事や役割があることに気付いている。</p> <p>[知技(習慣や技能)] 家庭において、自分の生活リズムを整えている。</p> <p>[思判表] 家の人の生活と比較しながら、自分の生活を見つめ直している。</p>

じぶんで できる ことを しよう			
<p>・家の人の役に立ちたい、自分のことが自分でできるようになりたいという思いをもち、自分と家の人の仕事や役割を特徴でまとめたり関連付けたりしながら、自分ができることを決めたり実際にやったりする中で、家庭での生活は、互いに支え合っていることに気付く、家庭での自分の役割を果たそうとすることができるようにする。</p> <p>p. 82～83</p>	6	<p>①家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを振り返る。家庭 家の人がしていることや、家の人にしてもらっていることを調べる。</p> <p>②調べてきたことを伝え合う。</p> <p>③家庭で自分ができることを考え、実施する計画を立てる。家庭 自分ができることにまずは3日間取り組む。</p> <p>④～⑤自分が取り組んだことを発表し合い、さらにできることを考え、記録カードにかく。家庭 自分が考えたことに取り組む。</p> <p>⑥家庭で取り組んだことを振り返り、よかったことや気付いたことを記録カードにまとめ、伝え合う。</p>	<p>[知技] 家庭での生活は、互いに支え合っていることに気付いている。</p> <p>[思判表] 自分と家の人の仕事や役割を特徴でまとめたり関連付けたりしながら、自分ができることを決めている。</p> <p>[態度] 家の人の役に立ちたい、自分のことが自分でできるようになりたいという思いをもち、試行錯誤しながら、家庭での自分の役割を果たそうとしている。</p>

これからも つづけよう			
<p>・活動前の自分と今の自分を比較してできるようになったことを話す中で、自分自身が家庭を構成している大切な一員であることに気付き、これからも家庭での自分の役割を果たしていこうとすることができるようになる。</p> <p>p. 84～85</p>	3	<p>① さらに続けていきたいこと、挑戦したいことを考え、記録カードにかく。</p> <p>家庭・常時活動 家庭や学校で、自分が続けたいことや挑戦したいことに取り組む（1週間程度）。</p> <p>② 自分が続けていることを、グループの友達と伝え合う。</p> <p>③ （期間をおいて）自分が家庭や学校で続けていることや、続けてよかったことなどを発表し合う。</p>	<p>[知技] 自分自身が家庭を構成している大切な一員であることに気付いている。</p> <p>[思判表] 活動前の自分と今の自分を比較して、できるようになったことを話している。</p> <p>[態度] 家の人の反応や願いなどから、自分が家庭の大切な一員であることを実感し、これからも自分の役割を果たしていこうとしている。</p>

【人・もの・ことの関係】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<p>おうちの人から、家庭で取り組んでいる様子についてコメントをもらったことで、今後の意欲の継続につながった。</p>	<p>家庭への協力依頼を早めに出し、一斉に取り組めるように調整が必要である。</p>	<p>家庭・保護者</p>

単元名	ふゆを たのしもう		教科書のページ	上 p. 86～101
配当時数	10 時間	活動時期	1～2 月	学習指導要領の内容 (4) (5) (6)

単元の目標	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子を比べたり、自然を利用した遊びを工夫したり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとすることができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、遊びの面白さや自然の不思議さ、季節によって生活の様子が変わること気付いている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子を比べたり、自然を利用した遊びを工夫したり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
こうていで ふゆを さがそう			
<p>・季節の自然と関わりたいという思いをもち、これまでに関わった校庭の様子と比較しながら、冬の自然の特徴を探す中で、校庭の自然の様子が冬になって変化していることに気付くとともに、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとすることができるようにする。</p> <p>p. 88～89</p>	2	<p>①～②校庭で、冬の動植物を観察したり、霜柱や氷など冬特有の自然を探したり、友達と遊んだりして、気付いたことを話したり、記録カードにかいたりする。</p>	<p>[知技] 校庭の自然の様子が、冬になって変化していることに気付いている。</p> <p>[思判表] これまでに関わった校庭の様子と比較しながら、冬の自然の特徴を探している。</p> <p>[態度] 季節の自然と関わりたいという思いをもち、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとしている。</p>
こうえんで ふゆを さがそう			
<p>・自分の生活と、公園や公園を支えている人々とのつながりを感じたり思い描いたりしながら、公園を支えている人と関わる中で、公園には自分たちが気持ちよく使えるように支えている人々がいることや、公園の自然や生活の様子が冬になって変化していることに気付くことができるようにする。</p> <p>p. 90～91</p>	3	<p>①～②ルールやマナーを守りながら公園に行き、遊んだり自然を観察したり公園にいる人と関わったりする。</p> <p>③教室に戻ってきて、公園での活動を通して気付いたことについて話したり、記録カードにかいたりする。</p>	<p>[知技] 公園には、自分たちが気持ちよく使えるように支えている人々がいることや、公園の自然や生活の様子が冬になって変化していることに気付いている。</p> <p>[思判表] 自分の生活と、公園や公園を支えている人々とのつながりを感じたり思い描いたりしながら、公園を支えている人と関わっている。</p>
そとで あそぼう			
<p>・自然現象を生かしたおもちゃをつくり、実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら遊ぶ中で、自然現象の中に一定のきまりがあることに気付くことができるようにする。</p> <p>p. 92～93</p>	3	<p>①風などを利用して、友達と一緒に簡単な遊びを楽しむ。</p> <p>②風を利用したおもちゃをつくり、友達と一緒に遊びを楽しむ。</p> <p>③実際に遊んで気付いたことや友達の工夫を参考にして、自分のおもちゃをさらに工夫して、気付いたことを記録カードにかく。</p>	<p>[知技] 自然の現象の中に、一定のきまりがあることに気付いている。</p> <p>[知技（習慣や技能）] おもちゃづくりに際し、道具や用具の準備、片付け、整理整頓ができています。</p> <p>[思判表] 実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら、繰り返し遊びに使う物をつくったり遊んだりしている。</p>

ゆきや こおりで あそぼう			
<ul style="list-style-type: none"> 雪や氷の特徴を生かしながら、友達と遊びに使う物をつくったり遊んだりする中で、季節の特徴を生かして遊びを創り出す面白さに気付くとともに、身近な自然の様子や季節の特徴に応じて、遊びを楽しくしようとすることができるようにする。 <p>p. 94～95</p>	外	<ul style="list-style-type: none"> 体全体を使って雪や氷に触れたり、雪や氷を使った遊びを工夫したりして、友達と遊びを楽しむ。 友達と、自分のお薦めの遊びを教え合う。 	<p>[思判表] 雪や氷の特徴を生かしながら、友達と遊びに使う物をつくったり遊んだりしている。</p> <p>[態度] 身近な自然の様子や季節の特徴に応じて、遊びを楽しくしようとしている。</p>
きせつの ことをつたえあおう			
<ul style="list-style-type: none"> これまでの季節の活動を振り返る中で、身近な自然の様子や生活の様子に共通点や違いがあることに気付くとともに、季節を生かして遊ぶことのよさや楽しさを実感し、これからも季節に合わせて自分の生活を楽しむようにしようとする。 <p>p. 96～97</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ❶ 冬の自然を観察したり遊んだりしたことなどを振り返り、友達と交流する。 ❷ 冬の活動の様子と、夏や秋の活動の様子を季節の流れに沿って並べて振り返り、デジタル紙芝居などで表現する。 	<p>[知技] 季節の変化に伴い、身近な自然の様子や生活の様子に共通点や違いがあることに気付いている。</p> <p>[態度] 季節を生かして遊ぶことのよさや楽しさを実感し、これからも季節に合わせて自分の生活を楽しむようにしている。</p>
むかしから つたわる あそびを たのしもう			
<ul style="list-style-type: none"> 地域の人に、昔から伝わる遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付き、進んで触れ合い、交流しようとする。 <p>p. 100～101</p>	外	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人を招待したり、訪ねたりして、昔から伝わる遊びを教わり、一緒に遊ぶ。 楽しかったことや気付いたことを振り返り、遊びを教えてくれた人にお礼の気持ちを伝える。 	<p>[知技] 地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付いている。</p>

【人・もの・ことに関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
昔遊びは、授業としては扱わなかったが、おもちゃはいつでも遊べるように教室内に置いていた。子供たちは休み時間等、楽しんであそんでいた。	秋遊びの時と同じで、教科書の時期とはずれるので計画立てて授業を進める。	

単元名	もうすぐ2ねんせい			教科書のページ	上 p.102～112
配当時数	17 時間	活動時期	2～3月	学習指導要領の内容	(8) (9)

単元の目標	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするができるようにする。
-------	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、身近な人々と関わることよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	年長児と関わりを深めたり、入学してからの1年間を振り返ったりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
----	----	------	------

あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう			
<ul style="list-style-type: none"> 来年度入学してくる新しい1年生に喜んでもらいたいという思いをもち、1年前の自分を思い起こして新しい1年生の気持ちや立場を想像しながら関わり方を決め、学校のことを分かりやすく伝えようとするができるとともに、新しい1年生と関わることよさや楽しさに気付くことができるようにする。 <p>p.104～105</p>	6	<ol style="list-style-type: none"> 入学前や入学直後の気持ちを振り返り、新しい1年生と一緒に何をしたいか、何を伝えたいかについて話し合う。 ～④新しい1年生を迎える計画を立てたり準備やリハーサルをしたりする。 ～⑥新しい1年生を招待して、一緒に活動する。終わった後、気付いたことをカードにかく。 	<p>[知技] 新しい1年生と関わることよさや楽しさに気付いている。</p> <p>[思判表] 1年前の自分を思い起こして新しい1年生の気持ちや立場を想像しながら、新しい1年生との関わり方を決めている。</p> <p>[態度] 新しい1年生に喜んでもらいたいという思いをもち、学校のことを分かりやすく伝えようとしている。</p>

しょうたいしたことをはなしあおう			
<ul style="list-style-type: none"> 新しい1年生と関わる活動を振り返りながら、新しい1年生の気持ちや立場に寄り添った関わりができたかについて話し合う中で、自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付くことができるようにする。 <p>p.106～107</p>	2	<ol style="list-style-type: none"> 新しい1年生と関わった際の写真や動画などを見ながら、感じたことや気付いたことを話し合う。 一緒に活動した幼稚園・保育所等の園児から送られてきた手紙を読み、招待した活動を通して、自分たちができるようになったことを振り返る。 	<p>[知技] 自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付いている。</p> <p>[思判表] 新しい1年生と関わる活動を振り返りながら、新しい1年生の気持ちや立場に寄り添った関わりができたかについて話し合っている。</p>

1ねんかんをふりかえろう			
<ul style="list-style-type: none"> 1年前の自分と今の自分を比べながら、自分のできるようになったことを見付けたり、まとめたりする中で、友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的な成長に気付くことができるようにする。 <p>p.108～109</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> 写真や動画などの手がかりを基に、1年間の出来事をみんなで振り返る。 ～③これまでかきためてきた記録カードや作品を整理してまとめ、1年間の成長を振り返る。 	<p>[知技] 友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的な成長に気付いている。</p> <p>[思判表] 1年前の自分と今の自分を比べながら、自分のできるようになったことを探したり、まとめたりしている。</p>

おおきくなったじぶんをみつめよう			
------------------	--	--	--

<p>・自分の1年間の成長をまとめる中で、自分の成長と周囲の人々との関わりを感じ、自分の成長は周囲の人々に支えられていることに気付くとともに、2年生への願いをもって意欲的に生活しようとするができるようにする。</p> <p>p. 110～111</p>	6	<p>①自分の成長をまとめる方法を考える。</p> <p>②～④自分の成長をそれぞれの方法でまとめる。</p> <p>⑤～⑥まとめた物で遊び合ったり紹介し合ったりする中で、思ったことや考えたことを話し合う。</p>	<p>[知技] 自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。</p> <p>[思判表] 自分の成長と、周囲の人々との関わりを感じ、支えてくれた人々がいることについて話している。</p> <p>[態度] 周囲の人々に支えられ、自分が1年間成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。</p>
--	---	---	--

【人・もの・ことに関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<p>年長児を招待する学習では、幼稚園の先生に事前に手紙を書いてもらい、年長児が楽しみにしていることや不安に思っていることを知ること、自分たちの時と比べて考えている児童が多くいた。</p>	<p>年長児との交流の時には、タイムスケジュールやどんなことを狙っているか、打合せをし、共通理解のもと行うようにする。</p>	

【令和7年度 芸西村立芸西小学校】生活科 第2学年 年間指導計画

月	○単元名 ・学習活動 ()時数	各教科等との関連 [内]内容 [能]能力	外部との連携 (人・もの・こと)
4	○春だ今日から 2年生内容(3,5)(6時間) ・春をさがそう ・1年生をむかえよう	【国語】 かんさつしたことを書こう ★身の回りの植物や生き物を観察して気付いたことを記録する文章を書くことができる。	家庭 2年生 教職員
5	○どきどき わくわく まちたんけん内容(3)(10時間) ・村のことを話そう ・村たんけんの計画を立てよう ・村たんけんに行こう ・見つけたことを教え合おう	【算数】 長さのたんい ★身の回りのものの長さを測定したり、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり比べたりできる。	家庭 通学路など学校周辺
6	○ぐんぐん育て わたしの野さい 内容(7)(10時間) ・野さいをそだてよう ・野さいのせわをつづけよう ・野菜のようすを伝え合おう ・野さいをしゅうかくしよう ・野さいのことをまとめよう	【国語】 ビーバーの大工事 ★かんばんとガイドブックの説明をそれぞれの特徴を生かして書くことができる。	学校近辺の水場など
7	○生きものなかよし 大作せん 内容(7)(10時間) ・生きものをさがしに行こう ・生きものをとりに行こう ・生きものをそだてよう ・生きものをつたえよう	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>生活科の内容項目</p> <p>(1)学校と生活 (2)家庭と生活 (3)地域と生活 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然や物を使った遊び (7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長</p> </div>	(まちたんけん) 2グループに分かれる *かつば市 *JA芸西集出荷場
9	○うごく うごく わたしのおもちや内容(6)(17時間) ・つくりたいおもちやをつくろう ・うごくおもちやをつくろう ・もつとくふうしよう ・あそび方をくふうしよう		
10	○もつとなかよし まちたんけん 内容(3)(12時間) ・むらたんけんの計画を立てよう ・みつけたことをしょうかいしよう ・もういちどたんけんに行こう ・むらの人となかよくなろう ・なかよくなった人のことをしょうかいしよう		
11	○みんなであつかうまちのしせつ内容(4)(10時間) ・図書かんに行こう ・図書かんのことを聞いてみよう		
12			
1	○つたわる広がるわたしの生活 内容(3,4,8)(12時間) ・つたえたいな むらのすてきなできごと ・つたえるじゅんぴをしよう ・もつとくわしくしらべよう ・むらのすてきをつたえよう	【国語】 たからものをしょうかいしよう ★本や資料を読んで、紹介や問題を作るために大事な言葉や分を書き抜くことができる。	家庭
2	○あしたへ ジャンプ 内容(9)(18時間) ・大きくなった自分のことをふりかえろう ・大きくなった自分のことをしらべよう ・大きくなった自分のことをまとめよう ・ありがとう はっぴょう会をひらこう ・すてきな3年生になろう	【国語】 言葉のアルバム ★一年間で最も心に残った出来事を思い出し自分のアルバムを作ることができる。	
3			

※年間通して、**更新（赤字）**を実施。

単元名	春だ 今日から 2年生		教科書のページ	下 p. 1～7
配当時数	6時間	活動時期	4～5月	学習指導要領の内容 (3) (5)

単元の目標	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、予想したり比べたりしながら身近な自然の特徴を捉え、自然の様子や四季の変化、季節に合わせて自分たちの生活が変わることに気付くとともに、地域の場所や人々に関心をもち、安全に気を付けて生活しようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、安全に気を付けて行動し、自然の様子や四季の変化、季節によって自分たちの生活が変わることに気付いている。	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、季節による変化を予想したり、他の季節と比べたりしながら、春の自然の特徴を捉えている。	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然のよさを取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
校でい で 春を さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 春の自然を観察する中で、予想したり比べたりしながら自然の特徴を捉え、春の自然の様子や季節の移り変わりに気付くとともに、それらを取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。 <p>p. 2～3</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ①～② これまでの経験を基にできるように1年生のときの写真を用いて季節の変化を予想しながら、校庭で春の動植物を観察したり、春を感じられるものを探したりする。 ③ 気付いたことや感じたことを友達と伝え合ったり、記録カードにかいたりする。 	<p>[知技] 春の自然の様子や季節の移り変わりに気付いている。</p> <p>[思判表] 季節による変化を予想したり、他の季節と比べたりしながら、春の自然の特徴を捉えている。</p> <p>[態度] 季節ごとの自然のよさを実感し、それらを取り入れ、自分の生活を楽しくしようとしている。</p>
まちで 春を さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 安全に気を付けながら学校周辺の地域を歩く中で、季節の変化に合わせて地域の人々の生活が変わることに気付くとともに、地域の場所や人々に関心をもち、春のまちを歩こうとするができるようにする。 <p>p. 4～5</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ① 学校周辺の地域を歩いて春を探す計画を立てる。 ② 学校周辺の地域に出かけ、安全に気を付けて歩いたり地域の人と適切に関わったりしながら、春を探す。 ③ 教室に戻り、まちの絵地図を見ながら、気付いたことや感じたことを伝え合い、記録カードにかく。 	<p>[知技] 季節の変化に合わせて、自分たちの生活が変わることに気付いている。</p> <p>[知技（習慣や技能）] 学校周辺の地域を歩く際、安全に気を付けて行動している。</p> <p>[態度] 地域の場所や人々に関心をもち、安全に気を付けながら春のまちを歩こうとしている。</p>

【人・もの・ことに関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎【効果的】	△【改良点】	関係している資料など
◎校庭で春の植物をタブレットで撮影し紹介し合ったことは良かった。	・春休み中に担任が芸西の春を見つけられそうな場所をリサーチしておくといよい。（まちたんけんにもつながる）	

単元名	ぐんぐん そだて わたしの 野さい		教科書のページ	下 p.8～19
配当時数	10 時間	活動時期	4～7 月	学習指導要領の内容 (7)

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち大切にしようとするができるようになる。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
そだてる 野さいを きめよう			
<ul style="list-style-type: none"> 野菜を育てたいという思いをもち、栽培する時期や場所などの条件を意識しながら自分が育てたい野菜を決め、たねまきや苗植えをしようすることができるようにする。 <p>p. 10～11</p>	3	<p>①～② 1年生でのアサガオを育てた経験を想起したり教科書や図鑑、インターネット等を使って調べたり、農業をしている保護者に意見を聞いたりしながら、自分で栽培する野菜を決める。</p> <p>チームで育てる野菜を決めている。記録を残していく。どのような育ち方をしているのか。(日付、ニュース、困りごとなど)</p> <p>ふせんに気軽に記入していく。発見、困ったカード、こんなこと聞いたよカード</p> <p>③ たねをまいたり苗を植えたりしながら、気付いたことを友達や先生と話したり記録カードにかいたりする。</p>	<p>[思判表] 栽培する時期や場所などの条件を意識しながら、自分の育てたい野菜を決めている。</p> <p>[態度] 野菜を育てたいという思いをもち、野菜の成長への期待を話すなどしながら、たねまきや苗植えをしようとしている。</p>
野さいの せわを しよう			
<ul style="list-style-type: none"> 1年生での経験を基に友達の野菜と比べたり、調べたことを実際に確かめたりしながら世話の仕方を決める中で、自分が育てている野菜の変化や成長に気付くとともに、野菜の状況に応じて、あきらめずに世話を続けることができるようになる。 <p>p. 12～13</p>	2	<p>① 野菜の様子を紹介し合い、必要な世話について話し合ったり、本やインターネット等で調べたり、農業をしている保護者に質問したりする。</p> <p>常時活動 野菜の様子を観察し、必要に応じた世話をする(草取りや施肥、支柱立て、芽かき、網かけなど、農業をしている保護者に来校してもらい教えてもらう)。</p> <p>② 野菜の様子を紹介し合ったり、必要な世話について話し合ったりしながら世話をし、野菜の成長の様子や世話の様子などを記録カードにかく。</p>	<p>[知技] 自分が育てている野菜の変化や成長に気付いている。</p> <p>[思判表] 1年生での経験を基に友達の野菜と比べたり、調べたことを実際に確かめたりしながら、世話の仕方を決めている。</p> <p>[態度] 育てている野菜の状況に応じて、友達に相談したり本で調べたりしながら、あきらめずに世話を続けようとしている。</p>

野さいの ようすを つたえ合おう			
<p>・ 友達の世話の仕方と、自分が育てている野菜の特徴、変化や成長の様子を関連付けながら、世話の仕方を見直す中で、異なる植物にも同じような特徴や性質があることに気付くことができるようにする。</p> <p>p. 14～15</p>	2	<p>①～②野菜の成長を報告する会を開き、育てている野菜の成長の様子や世話の仕方を紹介し合い、気付いたことを記録カードにかく。</p> <p>常時活動 話し合ったことを生かし、朝の時間や休み時間などを使って野菜の世話を続ける。</p>	<p>[知技] 異なる植物にも同じような特徴や性質があることに気付いている。</p> <p>[知技(習慣や技能)] 適切な方法で、植物の世話をしている。</p> <p>[思判表] 友達の世話の仕方と、自分が育てている野菜の特徴、変化や成長の様子を関連付けながら、世話の仕方を見直している。</p>
野さいを しゅうかくしよう			
<p>・ 自分が世話を工夫したことで野菜が大きく成長したことができるようになったことに気付くとともに、植物を育てることのよさを実感し、植物に親しみをもって、これからも植物と関わろうとすることができるようにする。</p> <p>p. 16～17</p>	3	<p>常時活動 朝の時間や休み時間などを使って野菜の様子を観察し、熟した野菜を収穫する。</p> <p>①収穫したときのことを振り返り、気付いたことを紹介し合う。</p> <p>②～③かきためてきた記録カードをまとめて友達と紹介し合ったり、野菜を育てる中でお世話になった方に感謝の気持ちを伝えたりする。</p> <p>収穫した野菜で作れる料理を考え、お世話になった人を招待して調理実習を行う。</p>	<p>[知技] 自分が世話を工夫したことで野菜が大きく成長したことができるようになったことに気付いている。</p> <p>[態度] 植物を育てることのよさを実感し、植物に親しみをもって、これからも植物と関わろうとしている。</p>

【人・もの・こととの関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い合わせ方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<p>・ 発見は黄色 困ったは赤 解決したものは青のように付箋で貼るとよい。</p> <p>○月○日、○○くんが～～してくれたよ。というように、残していくと、他者とのつながりが生まれる。</p> <p>最後は、野菜パーティーを開こうよ。だからこそ…大切に育ててやっておくとよい。</p>	<p>・ 付箋を用いて記録をしたことはよかったが、感じたことや気付いたことを十分に言葉で表すことが難しい児童もいた。今後は、教師の発問を工夫したりグループ活動を充実させることで、感じたことや気づいたことを言葉で表現できるよう支援していきたい。</p> <p>・ お世話になった人を野菜パーティーに招待することはできなかったのですが、実行するならば、ゴール計画を初めから教師が持っておき引き出すようにする。</p>	<p>・ 農業をしている保護者に児童の困りごとなどについて意見を求める。</p> <p>・ 保護者に来校する依頼をしておき、支柱など必要なお世話を実際に教えてもらう。</p> <p>・ 来校していただいた保護者に育った野菜をプレゼントしたり、お礼の手紙を書く。</p>

単元名	どきどき わくわく まちたんけん		教科書のページ	下 p. 20～29
配当時数	10 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要領の内容 (3)

単元の目標	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分との関わりを見付け、地域にはさまざまな場所があり人がいることや地域の場所が自分の生活と関わっていることに気付くとともに、地域の場所や人々に親しみをもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり人がいることや、地域の場所が自分の生活と関わっていることに気付いている。	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けている。	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人々に親しみをもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
まちの ことを 話そう			
<ul style="list-style-type: none"> 友達と身近な地域のことを話す中で、自分の知っている場所のほかに、まだ知らないさまざまな場所があることに気付き、地域に探検に行きたいという思いを高めることができるようにする。 <p>p. 22～23</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ①地域で、自分のお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などを芸西村マップを見ながら話し合う。 <p>芸西村マップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】 地域には、自分の知っている場所のほかに、まださまざまな場所があることに気付いている。
たんけんの 計画を 立てよう			
<ul style="list-style-type: none"> 行ってみたい場所や見てみたい物を思い描きながら、友達や自分の行きたい場所や時間に応じて、探検する場所を変えたり、順番を調整したりして、探検の計画を立てようとするができるようにする。 <p>p. 24～25</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①探検に行きたい場所について話し合い、探検先ごとのグループをつくる。2時間かけて、ルートを決め、全員で行く。 ②グループごとに探検の計画を立て、計画書に記入する（探検する順番や通る道、役割、持ち物、探検のルールやマナーなど）。 ③探検の計画や、探検のルール・マナーを確認し、探検に出かける準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【思判表】 行ってみたい場所や見てみたい物を思い描きながら、探検の計画を立てている。 【態度】 友達や自分の行きたい場所や定められた時刻に応じて、探検する場所を変えたり、順番を調整したりしようとしている。
まちを たんけんしよう			
<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活とのつながりを意識しながらまちを探検する中で、身近な地域の場所や物が自分の生活と関わっていることに気付くことができるようにする。 <p>p. 26～27</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①～③グループごとに探検に行く。 	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】 身近な地域の場所や物が、自分の生活と関わっていることに気付いている。 【知技（習慣や技能）】 地域を探検する際、定められた時刻を守っている。 【思判表】 自分の生活とのつながりを意識しながら、まちを探検している。
見つけた ことを つたえよう			
<ul style="list-style-type: none"> 探検したことを思い起こしながら、いちばん伝えたい 	3	<ul style="list-style-type: none"> ①探検で見つけたことをグルー 	<ul style="list-style-type: none"> 【知技】 身近な地域には自分たちの生活と関わっている場

<p>ことを選び、伝える中で、地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあることや、それらの場所が自分たちの生活を楽しんでいることに気づき、それらを自分たちの生活に生かそうとすることができるようになる。</p> <p>p. 28～29</p>	<p>プごとに振り返り、気付いたことを記録カードにかく。</p> <p>②見付けたことの中で、いちばん伝えたいことを付箋にかき、絵地図に貼る。</p> <p>③絵地図を見ながら、自分たちが見付けたことや分かったことなどを発表する。</p>	<p>所がたくさんあり、それらが自分たちの生活を楽しんでいることに気付いている。</p> <p>[思判表] 探検したことを思い起こしながら、いちばん伝えたいことを選び、友達に伝えている。</p> <p>[態度] 身近な地域には自分の生活を楽しんでくれる場所があることを実感し、それらを自分の生活に生かそうとしている。</p>
---	---	--

【人・もの・ことに関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<p>・大きいものにどんどん貼っていく。大きくわかりやすいマップがいい。拡大してなぞるようにするとよい。作成するのは、帰ってきたその日のうちに仕上げるとまとめやすい。自然、建物、人がいるのかをみにいく目的にするとよい。</p> <p>発表するときは、紙を見ずに発表させ、児童の意見をつないでいく。人のことにふれた時に、価値付ける？</p> <p>◎全部で、2回におさめるとよい。</p> <p>2学期は、グループに分かれて行く。手紙を書いてお願いをする。行く場所のところに事前に企画書を（夏休み）に持っていったり連絡をしたりしていく。</p> <p>寺、なすハウス、図書館、かっぱ市、駐在所、みそ工場、</p> <p>撮影をするときは、子どもに取らせる。伝える目的がはっきりしている。</p> <p>作成するときは、誰に向けて、どのような目的で行うのかを明確にしていく。</p> <p>それぞれの場所での工夫（僕、わたししか知らない秘密をもつから伝えたい。）</p>	<p>・写真撮影を児童に任せる時は、伝える目的をはっきりさせる。</p> <p>・発表で終わるのではなくて、学んだことをこれからの生活にどう生かすかを考える時間を設ける。</p> <p>自分の生活と結びつけた学びになるようにする。</p>	<p>探検時の連絡先など材の発掘</p> <p>探検時は民生委員さんに見守り補助依頼をかける。</p> <p>ちぐらは、お店が終了した。</p>

単元名	生きもの なかよし 大作せん			教科書のページ	下 p. 30～43
配当時数	10 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもって、大切にしようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物が生命をもっていることや、変化し成長していることに気付いている。	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
学校の 近くの 生きもの の ことを 話そう			
<ul style="list-style-type: none"> 生き物を飼ってみたいという思いをもち、1年生での経験などを基に、生き物のいる場所を予想しながら生き物を探す計画を立てる中で、生き物を飼うために必要なことについて調べようとするようにする。 <p>p. 32～33</p>	2	<ol style="list-style-type: none"> 1年生で虫のお世話をした経験や、まち探検での学びを基に、身近にいる生き物の様子を伝え合う。 話し合ったことを基に、探しに行く場所を決め、生き物を探す計画を立てる。また、教科書や図鑑、PC等を使い、生き物のことを調べたり考えたりする。 	<p>[思判表] 1年生での経験などを基に、生き物のいる場所を予想しながら、生き物を探す計画を立てている。</p> <p>[態度] 生き物を飼ってみたいという思いをもち、生き物を飼うために必要なことについて調べようとしている。</p>
生きものを さがそう			
<ul style="list-style-type: none"> 前時に立てた計画を基に、生き物のいる場所を実際に確かめながら生き物を探す中で、生き物のいる場所と生育環境との関係性に気付くことができるようにする。 <p>p. 34～35</p>	2	<ol style="list-style-type: none"> ～② 学校や地域の公園などで生き物を探し、教室に戻った後、気付いたことを記録カードにかく。 	<p>[知技] 生き物のいる場所と生育環境との関係性に気付いている。</p> <p>[思判表] 前時に立てた計画を基に、生き物のいる場所を実際に確かめながら、生き物を探している。</p>
生きものを そだてよう			
<ul style="list-style-type: none"> 生き物が育つ場所の特徴を意識しながら、生き物の立場に立って世話を続ける中で、生き物が生命をもっていることや、変化し成長していることに気付くことができるようにする。 <p>p. 36～37</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> 第1次で調べたことを基に、生き物がどのような環境で育ち、何を食べるのか再確認し、飼育環境を整える。 ～③ 調べたり聞いたりしたことなどを基に、それぞれの生き物に応じた世話をする。 <p>常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、継続的に世話や観察をする。活動後に気付いたことを記録カードにかく。</p>	<p>[知技] 生き物が生命をもっていることや、変化し成長していることに気付いている。</p> <p>[知技(習慣や技能)] 適切な方法で生き物の世話をしている。</p> <p>[思判表] 生き物が育つ場所の特徴を意識しながら、生き物の立場に立って世話を続けている。</p>

生きもののことをふりかえろう			
<p>・これまでの世話を思い起こしながら、自分がまとめた内容にふさわしい方法を選び、表現する活動を通して、自分が大切に世話を続けてきたことで、生き物が成長したことに気付くとともに、生き物に親しみを持ち、これからも大切にしようとするができるようにする。</p> <p>p. 38～39</p>	3	<p>①～② これまでの活動や、カード等の記録を基に、生き物のために頑張ったことや自分たちができるようになったことを友達と伝え合い、作品にまとめる。</p> <p>③ つくった作品を紹介し合った後、飼育してきた生き物をどうするかについて話し合う。</p>	<p>[知技] 生き物の立場に立って自分が大切に世話を続けてきたことで、生き物が成長したことに気付いている。</p> <p>[思判表] これまでの世話を思い起こしながら、自分がまとめた生き物の特徴や成長について、ふさわしい方法を選び、表現している。</p> <p>[態度] 継続的に世話をしてきた生き物に親しみを持ち、これからも生き物を大切にしようとしている。</p>

【人・もの・こととの関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<p>・生き物マップを作ることで、「ここにいたよ。」「こっちにもいるね。」といった気づきが自然に生まれ、楽しみながら学習に取り組めるのではないか。</p>	<p>・今年度は、野菜作りや町探検に重点を置いたために、生きものなかよし大きくせんの時間が十分に確保できなかったため、取り組むであれば時間の計画が必要。</p>	<p>テンプレートを残すと良い。見つけたよカード（ ）など A4 の半分くらい</p>

単元名	うごく うごく わたしのおもちゃ		教科書のページ	下 p. 44～57
配当時数	17 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容 (6)

単元の目標	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを工夫したりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付いている。	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりするなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
----	----	------	------

いろいろな おもちゃで あそんで みよう			
<ul style="list-style-type: none"> おもちゃの動く仕組みに着目しながら見本のおもちゃで遊ぶ中で、身近にある物を使ったおもちゃの動きの面白さやその特徴に気付くことができるようにする。 p. 46～47 	1	① 教員が自作したゴムの力で動くおもちゃで遊び、見本のおもちゃや教科書、図鑑、タブレットなどを参考にして、自分のつくりたいおもちゃを決める。	[知技] 身近にある物を使ったおもちゃの動きの面白さやその特徴に気付いている。 [思判表] おもちゃの動く仕組みに着目しながら、見本のおもちゃで遊んでいる。

うごく おもちゃをつくろう			
<ul style="list-style-type: none"> つくりたいおもちゃを思い描きながら使う材料を選び、つくる中で、材料やつくり方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付くことができるようにする。 p. 48～49 	3	①～③ 見本のおもちゃや教科書、図鑑、タブレットなどを参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を選んだり、材料を組み合わせたりして自分のおもちゃをつくる。	[知技] 材料やつくり方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付いている。 [知技（習慣や技能）] おもちゃをつくったり遊んだりする際、安全に配慮しながら必要な道具を適切に使っている。 [思判表] つくりたいおもちゃを思い描きながら、使う材料を選んでいる。

もっと よく うごく おもちゃに しよう			
<ul style="list-style-type: none"> おもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち、実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながらおもちゃをつくる中で、自分が加えた工夫とおもちゃの動きとの間に一定の関係性があることに気づき、繰り返し改良しようとするようにする。 p. 50～51 	3	① 自分がつくったおもちゃで友達と遊んだり競争したりするなどして、気付いたことを話し合う。 ②～③ おもちゃを工夫して改良しながら遊び、よりよく動くように、グループで話し合ったり、付箋でアドバイスをもらったりしながら遊んだりする。	[知技] 自分がおもちゃに加えた工夫と、おもちゃの動きとの間には、一定の関係性があることに気付いている。 [思判表] 実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながら、おもちゃを改良している。 [態度] 自分のおもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち、繰り返しおもちゃを改良しようとしている。

みんなと あそぼう			
<ul style="list-style-type: none"> みんなと楽しく遊んでいる様子を思い描きながら、遊び方やルールを決めて遊ぶ 	5	① みんなで楽しく遊ぶ活動について話し合う。	[知技] 自分がルールや遊び方を工夫したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるよ

<p>活動を通して、自分が工夫したことで、みんなと楽しく遊ぶことができるようになったことに気付くとともに、これからも友達と一緒に遊びを創り出そうとすることができるようにする。</p> <p>p. 52～53</p>	<p>② みんなで遊ぶ活動に向けて準備をする。</p> <p>③～④ みんなで楽しく遊びながら、ルールや遊び方を工夫したりおもちゃを改良したりする。</p> <p>⑤ これまでの学習活動を振り返り、記録カードにかく。</p>	<p>うになったことに気付いている。</p> <p>[思判表] みんなと楽しく遊んでいる様子を思い描きながら、遊び方やルールを決めている。</p> <p>[態度] みんなと遊びを創り出すことの面白さを実感し、これからも友達と一緒に遊びを創り出そうとしている。</p>
---	--	---

【人・もの・こととの関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<p>◎おもちゃ作りの時に地域協働本部の方たちに手伝っていただいたのがとてもよかったので続けると良い。【人】とのつながりになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の時間を2時間続ける。おもちゃ作りや友達のおもちゃを見たり遊んだりするためには時間が必要。 担任だけでは対応が不十分なので支援員の確保も必要。 	

単元名	みんなで つかう まちの しせつ		教科書のページ	下 p. 58～67
配当時数	10 時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容 (4)

単元の目標	公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようとするようにできる。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使う物があることや、それらを支えている人々がいることに気付いている。	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切に、正しく安全に利用しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
----	----	------	------

図書かんを つかおう			
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への関心や期待をもちながら図書館を利用する中で、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する施設であることに気付くとともに、それらを正しく利用しようとするようにできる。 <p>p. 60～61</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> ① 図書館を利用することについて話し合い、どんな人が利用したり、どんなきまりがあるのかを予想したりして、司書さんに質問したいことを考える。 ②～③ 地域の図書館に出かけ、本を読んだり借りたりするなど図書館を利用。 	<p>[知技] 図書館は、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する施設であることに気付いている。</p> <p>[知技(習慣や技能)] 図書館を利用する際、公共の場所でのルールやマナーを守っている。</p> <p>[態度] 図書館などの公共施設への関心や期待をもちながら、それらを正しく利用しようとしている。</p>

図書かんの ことを 聞いて みよう			
<ul style="list-style-type: none"> 図書館の機能やそこで働く人の役割を予想しながら図書館にいる人と関わる中で、図書館には多様な人々が利用しやすくなるような工夫があることやそれを支えている人の存在に気付くとともに、それらがまちの人たちの暮らしを豊かにしていることを実感し、これからも大切に利用しようとするようにできる。 <p>p. 62～63</p>	2	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域の図書館に出かけ、図書館のことを調べたり、図書館司書の人やボランティアの人、利用者などにインタビューしたりする。 ② 学校に戻り、図書館での学習活動を振り返り、記録カードにかく。 	<p>[知技] 図書館には、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用しやすくなるような工夫があることや、それを支えている人の存在に気付いている。</p> <p>[思判表] 図書館の機能やそこで働く人の役割を予想しながら、図書館で働く人と話したり質問したりしている。</p> <p>[態度] 図書館は多様な人々の暮らしを豊かにしていることを実感し、これからも大切に利用しようとしている。</p>

みんなで つかう しせつの ことを 話し合おう			
-------------------------	--	--	--

<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある公共施設について友達と話し、自分たちの地域にはみんなで使うためのさまざまな施設があり、それらを支えている人がいることに気付くことができるようにする。 <p>p. 64～65</p>	1	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域の公共施設について話し合う。 	<p>[知技] 自分たちの暮らす地域には、みんなで使うためのさまざまな施設があることや、それらを支えている人がいることに気付いている。</p>
---	---	--	---

【人・もの・ことに関連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎【効果的】	△【改良点】	関係している資料など
		図書館へ行く際には、司書の○○さんに事前に依頼をする。その際、質問一覧を渡しておく。

単元名	もっと なかよし まちたんけん		教科書のページ	下 p. 68～79
配当時数	12 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容 (3)

単元の目標	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするようにする。
-------	--

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分たちの生活との関わりを見付けている。	地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
たんけんの 計画を 立てよう			
<ul style="list-style-type: none"> 地域の場所や人について、もっと知りたいという思いをもち、春のまち探検のことを思い起こしながら、行き先や調べたいことを決めるなど、探検の計画を立てようとするようにする。 p. 70～71 	2	<ol style="list-style-type: none"> 1 学期に探検した写真を用いて探検について想起し、探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどについて話し合い、探検先ごとのグループをつくる。 2 グループごとに探検の計画を立てて計画書に記入する（探検場所、聞きたいこと、持ち物、探検のルールやマナーなど）。 	<p>[思判表] 春のまち探検のことを思い起こしながら、行き先や調べたいことを決めている。</p> <p>[態度] 地域の場所や人について、もっと知りたいという思いをもち、探検の計画を立てようとしている。</p>
もう いちど たんけんに行こう			
<ul style="list-style-type: none"> 春のまち探検と比較しながら、地域の人に質問したり話したりする中で、地域には働く人や生活している人がいることに気付くことができるようにする。 p. 72～73 	3	<ol style="list-style-type: none"> 1～2 グループごとに探検に行く。 3 探検活動を振り返り、気付いたことや学んだことを記録カードにかく。 	<p>[知技] 地域には働く人や生活している人がいることに気付いている。</p> <p>[知技（習慣や技能）] 地域の人と接する際、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いをしている。</p> <p>[思判表] 春のまち探検と比較しながら、地域の人に質問したり話したりしている。</p>

見つけた ことを 話し合おう			
<ul style="list-style-type: none"> 友達の見付けたことと自分の見付けたことを関連付けながら地域のことを話し合おう中で、地域にはさまざまな工夫をしながら働いたり生活したりしている人がいることに気付くとともに、探検で分からなかったことを調べたいという思いをもち、もう一度探検に行こうとするようにする。 p. 74～75 	2	<ol style="list-style-type: none"> 1 探検で見付けたことを、グループごとに整理し、全体の場で紹介し合う。 2 グループごとに、次の探検の計画を立てる。 	<p>[知技] 地域にはさまざまな工夫をしながら、働いたり生活したりしている人がいることに気付いている。</p> <p>[思判表] 友達の見付けたことと自分の見付けたことを関連付けながら、地域のことを話し合っている。</p> <p>[態度] 探検で分からなかったことを調べたいという思いをもち、もう一度探検に行こうとしている。</p>

まちの 人に 聞きに 行こう			
<ul style="list-style-type: none"> 地域で働いたり生活したりしている人の思いを意識しながら、調べたいことについて質問する中で、探検で関わった地域の人、地域に寄せる思いに気付くことができるようにする。 p. 76～77 	3	<p>①自分たちの嬉しいこと、楽しいこと、悲しいことなどについて思いを巡らせ、地域で働いている人や生活している人にはどんな思いがあるのかを想像して、各グループで前時の学習活動を踏まえて探検の内容を検討し、計画を見直して、探検の準備をする。</p> <p>②～③グループごとに探検に行く。</p>	<p>[知技] 探検で関わった地域の人、地域に寄せる思いに気付いている。</p> <p>[思判表] 地域で働いたり生活したりしている人の思いを意識しながら、調べたいことについて質問している。</p>
分かった ことをつたえ合おう			
<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達に関わった人々の地域に寄せる思いを関連付けながら、地域の人々のよさについて話す中で、地域には自分たちの暮らしを支えたり、楽しくしたりしてくれている人々がたくさんいることに気付くとともに、地域の場所や人々のよさを実感し、それらに親しみや愛着をもって大切にしようとするようにする。 p. 78～79 	2	<p>①探検で分かったことを、グループごとに整理してまとめ、ほかのグループの友達に紹介するための準備をする。</p> <p>②まち探検で分かったことを紹介し合う。</p>	<p>[知技] 地域には自分たちの暮らしを支えたり、楽しくしたりしてくれている人々がたくさんいることに気付いている。</p> <p>[思判表] 自分や友達に関わった人々の地域に寄せる思いを関連付けながら、地域の人々のよさについて伝え合っている。</p> <p>[態度] 地域の場所や人々のよさを実感し、それらに親しみや愛着をもって大切にしようとしている。</p>

【人・もの・ことの間連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<p>◎夏休み中に、探検先に時期や日にちの相談しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み中に村バスの手配しておく。 グループで探検を行う際には、安全面や活動の充実を図るため事前に先生方に時間を作ってもらい、同行して見守ってもらえるように依頼しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> みそ工場やなすハウスなど、グループを増やしたかったが、学校の体制もあり同行できる先生の確保がむずかしかった。 	<p>探検時の連絡先など材の発掘</p> <p>探検時は民生委員さんに見守り補助依頼をかける。</p>

単元名	つながる 広がる わたしの 生活		教科書のページ	下 p. 80～91
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容 (3) (4) (8)

単元の目標	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとするができるようになる。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
まちの すてきを 話し合おう			
<ul style="list-style-type: none"> 地域で関わった人のことや分かったことを伝えたいという思いをもち、伝える相手のことを想像しながら伝えたいことを選ぶ中で、詳しく調べたいことがあることに気付き、もっと調べようとするができるようになる。 <p>p. 82～83</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> 秋の探検で出会った人や見付けたことを振り返り、記録カードにかく。 出会った人や見付けたことなどの「まちのすてき」を友達と伝え合う。 「まちのすてき」を地域の人などに伝える計画について話し合う。 	<p>[思判表] 誰に伝えるかを思い描きながら、伝えたいことを選んでいく。</p> <p>[態度] 地域で関わった人のことや分かったことを伝えたいという思いをもち、もっと詳しく調べようとしている。</p>
もっと くわしく しらべよう			
<ul style="list-style-type: none"> 伝える相手のことを想像しながら、電話やビデオ通話等を適切に使って伝えたいことについて調べる中で、相手が伝えたいことが理解できるようになるなど、身近な人々と関わることのよさに気付くことができるようになる。 <p>p. 84～85</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> 伝えたいことや、そのためにもっと詳しく知りたいこと、調べる方法について話し合う。 ～③話し合って決めた調べ方に沿って、さらに詳しく調べる。 	<p>[知技] 相手が伝えたいことが理解できるようになるなど、身近な人々と関わることのよさに気付いている。</p> <p>[知技 (習慣や技能)] 地域の人に連絡をする際、電話やビデオ通話等を適切に使っている。</p> <p>[思判表] 相手のことを想像しながら、伝えたいことを詳しく調べていく。</p>
つたえたい ことを まとめよう			
<ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら伝え方を選ぶ中で、伝える相手に応じた伝え方があることに気付くとともに、適切な方法で表現しようとするができるようになる。 <p>p. 86～87</p>	3	<ol style="list-style-type: none"> 詳しく調べたことを整理してまとめる。 ～③調べてまとめたことについて、どうすれば相手に伝わるか話し合い、作品にまとめたり、伝える準備をしたりする。 	<p>[知技] 伝える相手に応じた伝え方があることに気付いている。</p> <p>[思判表] 伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら、伝え方を選んでいく。</p> <p>[態度] 伝える相手や内容に応じて、適切な方法で表現しようとしている。</p>

まちの すてきを とどけよう			
<ul style="list-style-type: none"> 地域のよさを相手に伝えたり交流したりする活動を通して、互いの気持ちがつながる心地よさに気付くとともに、身近な人々と関わることのよさを実感し、これからは進んで関わろうとすることができるようにする。 <p>p. 88</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ①～②グループでまとめたことを、地域の人に伝える。 ③地域の人に伝えたり、感想や質問を受けたりしたときの様子を振り返る。 	<p>[知技] 交流することで、互いの気持ちがつながる心地よさに気付いている。</p> <p>[知技 (習慣や技能)] 適切な方法で訪問や連絡、依頼を行っている。</p> <p>[態度] 身近な人々と関わることのよさを実感し、これからは進んで身近な人々と関わろうとしている。</p>
まちの 人を しょうたいしよう			
<ul style="list-style-type: none"> 伝える相手のことを思い描きながら、その人に合った方法で、地域のよさを伝える活動を通して、自分が伝えたことで地域の人々が喜んでくれたことを実感し、これからは地域の人々と交流しようとするようにする。 <p>p. 89</p>	外	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域の人など、身近な人々を学校に招待するための準備をする（手紙やポスターなど案内の作成、発表会の練習）。 招待した人々に、心に残った地域での出来事を伝えたり感想を聞いたりする。 	<p>[思判表] 伝えたい相手のことを思い描きながら、その人に合った方法で、伝えている。</p> <p>[態度] 自分が伝えたことで地域の人々が喜んでくれたことを実感し、これからは地域の人々と交流しようとしている。</p>

【人・もの・ことの間連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<ul style="list-style-type: none"> 村探検と合わせて、村のステキや村のステキな人を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間の確保（村のステキは3学期の学習発表会で伝える） 	


単元名	あしたへ ジャンプ		教科書のページ	下 p. 92～102
配当時数	18 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要領の内容 (9)

単元の目標	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや自分が大きくなったこと、役割が増えたことに気付いている。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価規準
せい長した 自分の ことを ふりかえろう			
<p>・これまでの表現作品などを手がかりに、入学した頃の自分と現在の自分を比較しながら、自分でできるようになったことや大きくなったこと、役割が増えたことなどについて話す中で、自分の成長に気付くことができるようにする。</p> <p>p. 94～95</p>	3	<p>① 年生の時から写真や動画、記録カード、作品などを手がかりに、入学してから自分でできるようになったことを振り返り、成長したことを青い付箋に書く。</p> <p>② 振り返る中で、自分の成長に気付いて記述した青い付箋を集め、全体で勉強、運動、家、生活習慣、心の成長などをXチャートを用いて分類分けをする。</p> <p>③ 成長の付箋をたくさん集めて、自分の成長シートを作っていくことを捉える。</p>	<p>[知技] 自分でできるようになったことや大きくなったこと、役割が増えたことなどに気付いている。</p> <p>[思判表] 入学した頃の自分と現在の自分を比較しながら、自分でできるようになったことや大きくなったことなどについて話している。</p>
せい長した 自分の ことを 見つめよう			
<p>・自分のことをもっと知りたいという思いを持ち、自分で振り返ったことと身近な人に聞いたことをつなぎ合わせながら自分の成長について話す中で、優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長に気付くことができるようにする。</p> <p>p. 96～97</p>	6	<p>①～② 友達との関わりを振り返り、互いのすてきなところを見付け、赤い付箋にかいて渡し合う。</p> <p>③～⑤ 家の人や成長を支えてくれた人などに、自分の成長についてインタビューをして、黄色の付箋に書いてもらう。</p> <p>⑥ 友達や家の人からもらった付箋やインタビューなどを手がかりに、過去の自分と比較し、自分の成長にはどんなひみつがあるのかを話し合う。</p>	<p>[知技] 体の成長や役割が増えたことだけでなく、優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長に気付いている。</p> <p>[思判表] 自分で振り返ったことと身近な人に聞いたことをつなぎ合わせながら、自分の成長について話している。</p> <p>[態度] 自分のことをもっと知りたいという思いを持ち、身近な人に聞いて調べようとしている。</p>

自分のことをまとめよう			
<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長についてまとめたいという思いをもち、いちばんかきたいことを選び出し、ふさわしい方法で表現する中で、自分自身のよさや可能性に気付くことができるようにする。 <p>p. 98～99</p>	9	<ol style="list-style-type: none"> 前時までに調べたことを基に、どんな出来事をどんな方法でまとめるか決める。 ～7 資料や材料を集め、方法を工夫しながら、自分の成長をまとめる。 ～9 つくった作品を友達と紹介し合い、まとめたことを振り返ったり、友達の作品を参考にして、さらに工夫したりする。 	<p>[知技] 自分自身のよさや可能性に気付いている。</p> <p>[思判表] 自分の成長について気付いたことの中から、いちばんかきたいことを選び出し、ふさわしい方法で表現している。</p> <p>[態度] 自分の成長についてまとめたいという思いをもち、適切な方法で表そうとしている。</p>
ありがとうの気持ちをつたえよう			
<ul style="list-style-type: none"> 周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、周囲の人々に感謝の気持ちを伝える活動を通して、自分がたくさんの人に支えられて成長していることに気づき、3年生でも意欲的に生活しようとするができるようにする。 <p>p. 100～101</p>	9	<ol style="list-style-type: none"> ～2 招待したい人を決め、伝えたい内容を話し合い、発表会の計画を立てる。 ～5 発表の準備をする。 ～8 発表会を開く。 発表会を振り返り、話し合う。 <p>※自分が興味のある教科を選び、3年生の授業を見学しに行ったり、3年生の英語での読み聞かせを聞いたりする。</p>	<p>[知技] 自分がたくさんの人に支えられて生活し成長していることに、気付いている。</p> <p>[思判表] 周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、感謝の気持ちを話している。</p> <p>[態度] これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、3年生でも自分のよさや可能性を生かして意欲的に生活しようとしている。</p>

【人・もの・ことの間連】 【場の設定】 【問いかけ】 【課題の出会い方】 など		
◎ 【効果的】	△ 【改良点】	関係している資料など
<ul style="list-style-type: none"> これまでの写真や作品、記録カードなどの「もの」を手がかりに、自分の成長を振り返る活動を設定する。 家族、友達、先生など、自分の成長を振り返る問いかけを通して多くの「人」に支えられて成長してきたことに気づき、感謝の気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 成長を支えてくれた家族や友達、先生との関りに目を向け、「これからも大切にしていきたいこと」や「していきたいこと」を考えられる場面を設定する。 	

【令和7年度芸西小学校】総合的な学習の時間 第3学年 年間指導・評価計画
※赤字の学習活動の際には、右表の評価規準をもとに記録に残す評価を行う

月	探究のプロセス①②③④+学習活動 () 時数 【探究のプロセス】①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現	評価項目	外部との連携 (人・もの・こと)	留意点	知識・技能			思考・判断・表現				学びに向かう力・人間性			
					知識	技能	総合的な学習のよさの理解	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	自己理解 他者理解	主体性 協働性	将来展望 社会参画	
4	<p>単元名 「芸西村のハウスのみ力を発見しよう」(70) ～芸西村にはスペシャリストがいっぱい～</p> <p>小単元① 芸西村のハウスについて知ろう (25)</p> <p>①芸西村では、どのような農作物が作られているのかを、これまでの生活から思い起こす。どこでどのような農作物が作られているのか、予想も含めて出し合う。(1) ①前時の児童の考えから、ハウスの農作物を作って自分たちで料理をしてみる。(3) ①おいしいピーマンやナスがどのように作られているか、社会科の町探検と絡めて、東西南北で、それぞれ作られている農作物を実際に見に行く計画を立てる。大まかにどこでどのような農作物が作られているか、おいしい農作物を作っているハウスの仕組みを調べていくことを確認する。(1) ①町探検の計画を立てる。(1)</p>	課題設定	地域各所 保護者 青年農業者 JA土佐あき芸西支所 安芸農業振興センター 芸西村役場産業振興課		10のつきたい力	村で活躍する人々には、それぞれの思いや願いがあることが分かる。	挨拶をしたり、電話や手紙などを使ったりして連絡するなど村の人々と適切に接することができる。	村のために尽くしている多くの人がいること、村の理解は、村の人々と関わりながら探究的に学んだことによる成果であると気付く。	身近な課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にしながらいフィールドワークの準備を進めたり、取り組みの順番を考えたりすることができる。	課題解決に必要な情報を収集することができる。	集めた情報を比較し、観点ごとに分類し、表などを用いて整理することができる。	他教科等で培った表現力等を生かし、課題に沿って理由付けしながら相手に応じて分かりやすく表現することができる。	探究活動の中で、自分や友達への考えそれぞれによさがあることを知り、互いに学び合おうとする。	身近な人と協力して、課題を解決しようとする。	村との関わりの中で、自分ができることを見つけようとする。
小単元① 芸西村のハウスについて知ろう															
5	<p>②③④東西南北にはそれぞれどのような農作物があるのかを班で予想し、確かめるために町探検にでかける。得た情報は、芸西村マップに書き込みながら他に見えたものや気づいたことなども一緒に書き込んでいく。(7)※社会科の字数も含めて ※タブレット活用を考えるなら、タブレットを持っていき、ハウスの写真を撮ってきたり、その場で何が作られているかをスタンプなどで入れていったりする方法も考えられる。</p>	技能	ハウス 地域各所	調べたことなどをどのようにまとめて表現すればよいか迷った。		芸西村のハウス見学において、ハウスでの過ごし方や質問の仕方などに気を付けながら、見学やインタビューを実施している。	芸西村のハウスについて、疑問に思ったことを解決したいという思いをもちながら、課題設定をし、今後の見学の計画を立てている。	芸西村のハウスについて、それぞれの施設の違いや育て方の違いに着目しながら、ハウスの工夫に迫る資料を選択し収集している。	芸西村のハウスについて、思考ツールを用い、比較・分類しながら、共通点や相違点を見つけている。	芸西村のハウスについて、共通点や相違点を見つけながら、各グループでマップにまとめた内容を地域協働本部の方に伝えている。	芸西村のハウスについて、自分の考えを出し、友達への考えを受け入れながらマップにまとめている。				
6	<p>③書き込んだマップをみながら、疑問点や気づいたことを出し合う。(1)例：どうしてナスの方が多く作られているのかな。ハウスの屋根が丸いものと三角のものがあつたのはどうしてかな。芸西村では、何人の人が農家をしているのかな。 ①出てきた疑問を解決するために、農家の方にインタビューしに行く計画を立てる。(1) ②何を聞くのかを整理して、インタビューに行く。(4) ※役場の方に聞けることがあれば、そちらにも行く。 ③聞いてきたことを「ハウスのこと」「人のこと」「野菜や花のこと」などのカテゴリーに分けて整理する。(2)</p>	情報収集	ピーマン ナス トルコギキョウ ブルースター												
7	<p>④始めに作っていたマップの情報に付け加える形で聞いてきた情報を入れ、自分たちの芸西村マップとしてまとめる。(3) ①4年生にマップをみてもらい、質問をしてもらうことで、まだ自分たちには知らない情報が多くあることに気づく。2学期はもっと知りたいことについて情報を集め、それを誰に向けて発信するか考える(1)</p>	自己理解・他者理解			評価方法	動画、ワークシート		振り返り、観察					振り返り、観察		
9	<p>小単元② 芸西村のハウスで働いている農家についてもっと知ろう (31)</p> <p>①1学期のまとめから、自分たちがもっと知りたいことについて出し合う。(1)例：1学期は野菜を調べたから、2学期は花について調べたいね。農家の人は暑くて大変なのにどうして続けられるのかな。どれくらい大変か体験してみたいな。 ②ハウス農家の方に、インタビューに行く計画を立てる。植え付けや収穫など、手伝わせてもらえる時期なども聞いて体験もさせてもらう。(2) ①ハスモンヨトウの事前学習をし、農薬を使わないで害虫を駆除している方法を知り、自分たちの学習していることと結び付けて考える。(1) ①ハスモンヨトウのトラップを作成する。(1) ②1学期に作成したハスモンヨトウのトラップを、どんな場所に設置しているのかを考えながら、設置していく。(3)</p>	主体性 協働性	青年農業者 JA土佐あき芸西支所 安芸農業振興センター 芸西村役場産業振興課 施設園芸農家保護者			芸西村で働く農家の人々は、消費者のことを考えて様々な工夫や努力をしている。たり、他の農家の方と協力したりしながら、芸西村の農業を守っていることを理解している。	芸西村で働く農家の人々について、もっと知りたい、聞きたいという思いをもちながら、課題設定をし、以降の見学の計画を立てている。	芸西村で働く農家の人々について、農家さんそれぞれの思いや努力や工夫に着目しながら、選択し収集している。	芸西村で働く農家の人々について、伝えるための順序を考えたり、優先順位を考えたりしながら、マップやCMに盛り込む情報を選んでいく。	芸西村で働く農家の人々について、目的や対象を意識したり、写真や動画を効果的に活用したりしながら、マップやCMにまとめている。	芸西村で働く農家の人々について、役割分担をして取材をしたり、農家の人たちに困っていることや聞きたいことを相談しながら、解決しようとしている。	自分たちの暮らしと地域の農作物にはつながりがあることに気づき、自分にもできることをどのようなことなのか考えている。			
10	<p>②計画をもとにハウスの農家の方に、見学、取材、質問、体験に行く。(6) (トルコギキョウ、ブルースター) ③各グループで調べた情報を共有する。(2) ②聞きぬかったことやもっと知りたいことをもう一度整理し、インタビューして確かめる。(4)</p>				評価方法	振り返り、ワークシート		振り返り、観察・発言	ワークシート			観察・動画	振り返り・観察・発言		
11	<p>④⑤整理してきた情報をどのような手段で伝えると芸西村の農家のことが伝わるのか、その方法を考える。紹介することも考えられる。(芸西村のすてきな特産物、人マップ、芸西村のすてきな農家CM、芸西村すてきな人名鑑など)(1) ⑥ハスモンヨトウのトラップを回収して数え、農家の方々が協力しながら農業を行っていることを実感する。(3) ⑦6年生と協力して、花の魅力を伝えるために、6年生が作ったグッズと一緒に販売しに行く。(4)</p>	将来展望 社会参画 知識 整理・分析	ハウス 地域各所 芸西村役場 芸西村文化資料館	芸西村のすてきな特産物、人マップ、芸西村のすてきな農家CM、芸西村すてきな人名鑑などの発信方法は、児童に選択させてなるべく1つ多くて2つ位に絞った方がよい。(多すぎるとう見取りが難しい)											
12	<p>③、④自分たちでできた表現方法をもとに、作品を作成していく。(4) ④4年生にも発表を見てもらい、芸西村のすてきさが伝わっているかを聞いてもらう。(1) ①4年生からもらったアドバイスをもとに、強調したい部分や補足したい部分を考える。学習発表会に向けて計画を立てる。(1)</p>		ピーマン ナス トルコギキョウ ブルースター		評価方法										
1	<p>小単元③ ステキいっぱい芸西村の農家さんを紹介しよう (14)</p> <p>④学習発表会に向けて、今までしてきたことをまとめながら発表の形にする。(4) ④学習発表会だけでなく、これまでの学びを俳句で表現したものを図書館等に飾ってもらうことを想定して作る。(4)</p>	まとめ・表現	芸西村役場産業振興課 JA土佐あき芸西支所 施設園芸農家保護者												
2	<p>④学習発表会で披露し、自分たちの考えていた成功だったのかを確認し、どのような頑張りがあったのかを振り返る。(2)</p>		地域各所 芸西村役場 喜ら功 かっぱ市		評価規準		自分たちについて力、農家の方々と関わってきたこと、自分たちが問題を解決してきたこと、友達と協力してきたことなどが影響してきたことに気づいている。	素敵な農家の方々について、学んできたことを伝えたいという思いや具体的な言葉やイメージしながら、他小学校とのリモート計画を立てている。	素敵な農家の方々について伝えるために、伝える目的をおおきく、相手の小学校の地域のことを調べたりしながら、情報を選択し収集している。	素敵な農家の方々について伝えるために、相手はどこまでの情報を知っているのかや興味をもちその多面的・多角的にみながら、整理し決めている。	素敵な農家の方々について伝えるために、話や組み立てを意識したり、伝えたりすることを意識した構成になっていたりしているか確認しながら、マップやCMにまとめている。				
3	<p>③④今までの掲示物を振り返り、1年間を通して、自分たちについてきた力を全体で振り返る。(自分達についてきた力は、どのようにしてついたのか、誰と関わってついできた力なのかをおさえて振り返るようにする。)(2) ④年間を通して、自分にはどのような力が身についたのか、原稿用紙に書き、成長を振り返る。(2)</p>	総合的な学習のよさの理解	ピーマン ナス トルコギキョウ ブルースター マップ作り		評価方法		振り返り 原稿用紙				振り返り・観察・発言				

【令和7年度芸西小学校】総合的な学習の時間 第5学年 年間指導・評価計画
 ※赤字の学習活動の際には、右表の評価規準をもとに記録に残す評価を行う

月	探究のプロセス①②③④+学習活動 () 時数 【探究のプロセス】①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現	評価項目	外部との連携 (人・もの・こと)	留意点	知識・技能			思考・判断・表現				学びに向かう力・人間性				
					知識	技能	総合的な学習のよさの理解	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	自己理解 他者理解	主体性 協働性	将来展望 社会参画		
4	<p>単元名 芸西村の宝物を未来に残そう ～自分たちにできること～ (70)</p> <p>小単元① 農家さんってすごい!～おいしいお米を作ってみよう～ (20)</p> <p>①いつも食べている給食について、目を向ける。(芸西村のお米って、本当においしいの?芸西産のお米と備蓄米、外国米と食べ比べてみる。自分たちが食べていたご飯を当てるゲームを行い、芸西米のおいしさに気付く。そして、米のおいしさを秘密を考えていく。マッピングのようにしていくと想像が広がります。) (1) ①農家さんに聞く必要があることを確認して、農家の方の1日の仕事を予想し、質問を考える。(1日の仕事、大変なこと、嬉しいこと、失敗したこと、昔とのちがひなど) (1) ②体験活動(しろかき、草取り、水の管理など)について学ぶ。(これらの作業が、おいしい給食の一杯につながっていることを考える。) (2)</p>	情報収集	青年農業者 米農家 芸西村役場 保護者 中学校1年生 幼稚園年長児	これまでの学習の足跡が分かるもの	実際に食べ比べができるように、芸西産のお米(昨年度収穫したもの)と外国産のお米を用意しておく。食べ比べる際には、お米そのものの味を確かめることを大切に、おいしさを秘密を考えていくことにつなげる。	10のつたい力	村の財産(人・もの・こと)を未来に残すために、様々な価値を理解する。	村に昔からあるものを大切に扱い、見学やインタビューなど状況に応じて村の人と適切に関わることができる。	村の人々の思いや願い、努力によって、村の農業が受け継がれていることの理解は、村の人々と関わり、自分の生活と関連付けながら探究的に学んだことによる成果であると気付く。	自分達の関心から課題を決め、解決方法や未来に残したいもの、魅力を発信するための方法を具体的に順序立てて構想することができる。	多様な方法で情報を収集し、情報を蓄積することができる。	適切な思考ツールなどを選んで情報を整理し、情報と情報がかみ合いだすことができる。	他教科等で培った表現力等を活用し、相手や目的に応じて方法を工夫しながら伝えられることができる。	探究活動を通して、自分自身を理解し、他者の考え等を受け入れ尊重しながら学び合おうとする。	自分と身近な実生活・実社会の問題解決に他者と協働して進んで取り組もうとする。	村との関わりの中で、村にとって必要なことと自分ができることを検討し、実践に移そうとする。
小単元① 農家さんってすごい!～おいしいお米を作ってみよう～																
5	<p>①芸西村でヒノヒカリを取り入れている理由を探り、他の地域での米の育ち方にも興味をもつ。(1) ②育て方はどこの地域でも同じかどうかを、資料(動画、リモート取材、本など)をもとに調べる。(芸西村の気候や土地の様子にも関係していることに気付かせていく。) (2) ②米作りのプロ(村で設定)から、米作りのポイントや注意点について話を聞く。(村の事業) (1) ②米作り(田植え)を実際に体験する。(村の事業) (2) ①村役場の方から昨年度の田んぼの様子(ジャンボタニシの被害)について話を聞き、対策や駆除の計画を立てる。(1)</p>	情報収集	青年農業者 米農家 芸西村役場 保護者 中学校1年生 幼稚園年長児	話聞く際には、質問したいことを事前に考えておくようにする。村役場の方と事前に話をしていき、毎年ジャンボタニシの被害に悩んでいることや駆除をしてほしいことを児童に依頼してもらうようにする。	評価規準					米作りを通して、米に対する興味を持ったり、どのように育てたらよいのかに関心を持ちながら、今後の見通しを持っている。	米作りを通して、おいしく育てるための注意点や日々行うことや米作りの害虫の特徴や駆除の仕方について情報を選択・収集している。	米作りを通して、各自が調べたことを思考ツール(xチャート)を活用して、学んできたことを4つの視点で分類し、多面的に整理している。	米作りを通して、学んできたことや人の思いを構成の順番を考えたり、各見出しの内容を要約して書いたり、効果的な写真の活用をしたりするなど、各教科で学んだことを生かしながら、新聞を作成し、表現している。		米作りを通して、米農家の方に教えてもらおう、周りの友達と声を掛け合いながら日々の手入れを進んで行っている。	
6	<p>②田んぼの様子を観察し、トラップを仕掛け、ジャンボタニシや卵を駆除する。 →トラップの設置・回収・集計を2回程度行い、実施した効果を調べる。(3) ③各自が調べたことや体験したことを共有し、米作りについて学んだことを4つの視点(田植え体験、インタビューで分かったこと、ジャンボタニシ対策)で整理する。(1) ③高知新聞社の方から、新聞づくりのポイントを教わる。(1) ③新聞記事を作成し、高知新聞社の方からアドバイスを受ける。(1)</p>	主体性 協働性	高知新聞社 4年生	高知新聞社の方に来校していただく前に、国語科の「新聞記事を読み比べよう」の学習を行っておくようにする。	評価規準											
7	<p>④アドバイスを生かして、新聞記事を完成させる。(1) ④米作りについて学んだことを、4年生に紹介する。(2)</p>	まとめ 表現			評価方法					ワークシート 観察		新聞 観察		観察 振り返り		
9	<p>小単元② 地産地消の取組を考えよう!～自分たちにできること～ (30)</p> <p>①2学期の取組について考える。(1) →収穫したお米を使っていたことや伝えたいことを考えることを通して、芸西村全体の農業の課題の把握へとつなげていく。 ①社会科の学習や、村役場の方からいただいた資料、身近な農家さんからの話をもとに、芸西村の農業の現状や課題を知る。(1) ①②地域の物を食べる取組を調べ、自分たちにできることについてアイデアを出し合う。(1) (アンケートをとる、給食を残さず食べるように集会で発表する、地産地消をPRする広告やポップを作る、芸西産の食材を使って料理を作って紹介するなど) →高知県の有名な食べ物について調べ「血鉢料理」についてふれる。 →地産地消や、生産者と消費者をつなげることができるのでは?という考えにつなげる。 ②血鉢料理について調べる。(2) ③座標軸を活用して、多くの農家の方に貢献できる効果の高低や楽しさ・追究度の高低を考慮することで、地産地消の料理を「芸西血鉢」にして紹介したいという思いをもって取り組んでいくようにする。(2) ②稲刈りの体験をする。(村の事業) (2)</p>	将来展望 社会参画	ナス農家 ピーマン農家 米農家 青年農業者 芸西村役場 保護者 中学校1年生 幼稚園年長児	芸西村の農業の課題を考える際、自分たちの考えと、保護者(農家の方を含む)の考えを比較できるようにする。そのために、家庭でインタビューをするようにする。	評価規準	芸西村の農業は、高知県で有数の農作物の出荷数をほこり、農業を守ったり受けついできたりする人々がいることや、農家を支えることにつながる地産地消に取り組んでいる地元の飲食業があることに気づいている。	買った物に外出す場面や、必要な金額やエコ袋、メモ帳など様々な準備物を確認しているようにしたり、出会った方々への挨拶や気遣い、言葉遣いなどを意識しながら、買った物を行っている。	農家の方々の困り感を解消する活動を通して、芸西村のためにできることがどのようなことなのかを考えたり、農家の方々の地域のものをつくらさん食べても良かったという思いを生かしたりしながら、今後の活動計画を立てている。	地産地消の取組について調べる活動を通して、どのような取組があるのかをインターネットや雑誌から自ら情報を集めたり、農家の方の地域のものをつくらさん食べても良かったという思いを生かしたりしながら、今後の活動計画を立てている。	地産地消のメニューについて話し合う活動を通して、レーダーチャートを用い、5つの項目について比較、検討しながら芸西血鉢づくりに向けての取組を整理し決定している。	芸西血鉢を作る活動を通して、栄養バランスなどを意識して実施したり(家庭科)、1食当たりの値段を求めたり(算数)、どのようなポイントに注意してメニューを考えたりするかを説明したりする(国語)などの力を活用し、表現している。		農家の方々の困り感を解消する話し合いを通して、農家の方々の思いを組んだうえで、現実に見たことや様々なツールで調べたことから効果的な方法を提案しながら、意見を交流している。			
10	<p>④①芸西血鉢づくりに協力してくれるお店(藤、喜ら功など)にあたり、取組の目的や自分達が今後行いたいことを伝える。(3) ①②芸西産の食材を取り入れたメニュー開発について、プロから話を聞く。(1) ②自分たちが活用したい芸西産の食材について、他の学年にアンケートをとる。(2) ②アドバイスやアンケート結果をふまえ、芸西血鉢のメニューについて話し合う。(2)</p>	課題設定 知識	喜ら功 3年生 4年生 6年生	レーダーチャートは、翌月の試食後に評価したものと比較できるようにしておく。(料理別)	評価規準					観察 振り返り					観察 発言 振り返り	
11	<p>③④芸西血鉢の内容や構成を、4つの観点(地元食材の活用、アンケート結果をふまえた工夫、栄養のバランス、オリジナリティ)をもとに、レーダーチャートで比較しながら決定する。(2) ①芸西血鉢づくりの計画を立てる。(3) →作る予定のレシピを見てもらう。(分量や調理工程等について、栄養職員からアドバイスを受ける。) ②必要な物の買い出しに行き、調理の準備をする。(2)</p>	整理・分析		調理を振り返る際、どの教科のどのような力が関連しているかを明らかにできるようにする。	評価方法	ワークシート 振り返り	ワークシート 観察 動画				ワークシート 振り返り					
12	<p>③④芸西血鉢を試作する。(3) ④①試食を通してプロにアドバイスをもらい、自分たちの考えと比較する。(1) ※指標準備 ④①改善点を明確にし、3学期の大まかな計画を立てる。(期日の設定、スケジュールの詳細、調理場所の確保、食べる場所の確保、宣伝の仕方、当日の準備物など) (2)</p>				評価方法	ワークシート 振り返り	ワークシート 観察 動画				ワークシート 振り返り				観察 発言 振り返り	
1	<p>小単元③ 芸西村の宝物を発信しよう!～未来に残すために～ (20)</p> <p>①3学期の取組を確認する。(目的や計画、対象、芸西血鉢づくりの改善点等。)(1) ②芸西血鉢づくりの改善案を考える。(2) ②③改善案をプロに見せ、アドバイスをもらう。(1) ②開催にあたっての注意点(衛生面)に関して、話を聞く。(1) ※食中毒の問題に関しては、栄養職員に事前に伝えてもらう。</p>	自己理解 他者理解	栄養職員 給食調理員 青年農業者 ナス農家 ピーマン農家	目的を定期的に確認し、当日から逆算して考え準備できるようにする。カレンダー等、全員でスケジュールを共有し活用していく。	評価規準	村の人々の思いや願い、努力によって、村の農業が受け継がれていることと理解は、村の人々と関わり、自分の生活と関連付けながら探究的に学んだことによる成果であると気付いている。	イベントを開催する話し合い活動を通して、本番で行うことやそこまでの準備や調整などの具体的なイメージをもちながら、今後の計画を立てている。	イベントを開催する準備を通して、衛生管理している方々に実施上の注意点を聞いたり、会場づくりや準備に必要なものなどを調べたりしながら情報を選択し、収集している。	イベントを開催する準備を通して、今まで聞いてきた情報や準備してきたことを、チェックリストを用いて確認しながら、行う内容を整理・決定している。	イベントを通して、目的や対象を意識しつつ、芸西村の農作物の魅力や伝えたい、どのような方との関わりの中で、思いをまとめて作ったのかということを伝えたりしながら表現している。	イベントを通して、自分の意見に理由を付けて話したり、自分が行う役割を考えたりしている。また、友達や親戚の考えを受け入れながら、イベントの準備をしている。					
2	<p>②③連絡・宣伝をして、準備を進める。(4) ③チェックリストをもとに、買い出しや会場づくり、当日の全体の流れについて、準備できているか確認する。(2) ④芸西血鉢を作り、発信する。(4) ※アンケート実施</p>	自己理解 他者理解	米農家 芸西村役場 保護者	頑張り取り組んできたことを認め合い、成長を実感するとともに、6年生の総合でたいことを考えるようにする。	評価方法			ワークシート 振り返り					観察 発言 振り返り			
3	<p>④実施したアンケートを振り返る。(2) (活動が成功したといえるのか、それはどのような頑張りが人との関わりがあったのかを共有する。) ④この1年間で身に付いた力を、全体で共有する。(1) ④1年間の学習を通して身に付いた力をまとめ、成長を実感する。(2)</p>	探究的な学習のよさの理解	3年生 4年生 6年生		評価方法			ワークシート 振り返り					観察 発言 振り返り			

【令和7年度芸西中学校】総合的な学習の時間 第2学年 年間指導・評価計画
 ※赤字の学習活動の際には、右表の**評価規準**をもとに記録に残す評価を行う

月	探究のプロセス①②③④+学習活動 () 時数 【探究のプロセス】①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現	評価項目	外部との連携 (人・もの・こと)	留意点	知識・技能			思考・判断・表現				学びに向かう力・人間性		
					知識	技能	総合的な学習のよさの理解	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	自己理解 他者理解	主体性 協働性	将来展望 社会参画
4	単元名 仕事を通して自分のキャリアを考える (70) 小単元① 働くって何だろう？大事なことって何かを考えよう (22) ①今までの総合的な学習を通して、出会ってきた人たちを振り返り、どのような職業なのか、何を行う仕事なのか調べてみる。仕事内容を調べた後は、「働く意味」とは、何だろうと問いかけ、仕事に対するそれぞれの価値観を出していきなり、今後の取材計画を立てていく。(2) ①働く時に大切にしたいキーワード・ベスト3をクラス内で交流する。(1) (思考ツールを使用する) ②修学旅行に行く時の下調べを行う中で、昨年度、作成したパンフレットを渡す場所はどこのか、その中で、どのような職業の方と出会うか、予想を立てながら情報収集していく。(2)	課題設定	◎芸西村で働く人 ・保護者の方 ・サンシャイン ・教員 ・茂井さん ・農家さん ・藤戸さん ・JA ・調理員さん ・藤戸さん ・保護者の方 ◎修学旅行で出会う人	10のつきたい力	地域の方々の仕事に対する姿勢や願いに気づき、働くことの意味や価値を理解する。	目的に合わせて情報を収集することができ、情報に応じて、適切に情報を蓄積することができる。	地域にある様々な職業に就く人々の思いを知ることや、働くことの意味、価値の認識の理解は、情報を多面的に見ながら働くことと自分たちの生活との関係を探求的に学んだことと成果であると感じ付く。	問題状況の中から課題を発見、設定し、解決の方法や手順を客観的なデータをもとに考え、見直しをもって計画を立てることができる。	目的や意図に合わせて、情報収集の手段を選択し、情報を適切に蓄積することができる。	収集した情報を比較したり関連付けたりして、共通点や差異点を見付けたり確かな理由や根拠をもったりすることができる。	他教科で培った表現力等を活用し、自分の意見や立場を明確にしなが、相手や目的に応じて効果的に表現することができる。	探究的な活動を通して、自分の生活を見直して、自分の特徴やよさを理解しようとする。また、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。	自分の意思で、目標をもって課題解決に向けた探究活動に取り組もうとする。他者と協働して取り組もうとする。	探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や目標をもとうとする。探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題解決に取り組もうとする。
小単元① 働くって何だろう？大事なことって何かを考えよう														
5	②修学旅行中に、パンフレットの紹介をすると同時に、(職業名)(何を大切に、仕事をしているのか。)などの取材をする。(2) ③修学旅行先で学んだことや改めて知ったことなどをまとめ、共有できるようにする。(2) ②③個人個人が聞いてきた働く上で大切なことや理由を共有し、どんな意見が多かったのか、どんな理由を言っていたのかを分析する。全員の意見をマトリックスで分類・整理する中で、同じ職業でも違う考えがあったり、思いの深さが行動にもつながりしていることに気づく。(2) ④自分にとっての働く意味を広げるために、ここまで学習したこと、働くことについて考えたことをワークシートにまとめ、学級内で交流する。(1)	技能		評価規準	修学旅行の取材中にアンケートを取る際に、自己紹介や取材の目的を相手に詳細に伝えたり、相手に失礼のないように敬語を使ったり、相手や場面に応じた適切な方法で情報を収集している。	様々な働く方との出会いを想起する活動を通して、具体的にはどのような仕事なのか探ろうと考えたり、仕事で大切にしている価値観とは何かを考えたりしながら、取材計画を立てている。	様々な働く方との出会いを想起する活動を通して、働くことについて大切にしているのか、修学旅行先の下調べをしたり、様々な職業の方に直接聞いたりしながら、情報を選択し、収集している。	働くことについて調べてきたことを共有する活動を通して、各々が調べた意見をマトリックス表を使い、分類・比較してそれぞれの共通点や相違点を明らかにしながら、意見を交流し、整理している。	働くことについて追究する活動を通して、自分の予想とどのように違っていたのかを比較したり、グラフや表などのデータを示したりしながら学習したことをまとめたり、働くことについて大切なことを書いたりしている。	働くことについて自分が考えたことをクラスで交流する中で、自分の考えを見えてきたことや聞いてきたことをもとに理由も合わせて主張しており、また、自分とは違う友達の意見も受け入れながら、仕事に対して今後、考えを深めようとしている。				
6	②自分の親は働くことについてどう考えているのか知り、働くことについて考えを深めるために取材を行う。(1) ②③個人個人が聞いてきた働く上で大切なことや理由を共有し、どんな意見が多かったのか、どんな理由を言っていたのかを分析する。全員の意見をマトリックスで分類・整理する中で、同じ職業でも違う考えがあったり、思いの深さが行動にもつながりしていることに気づく。(2) ④自分にとっての働く意味をさらに深めるために、ここまで学習したこと、働くことについて考えたことをワークシートにまとめ、学級内で交流する。(2)	整理・分析												
7	②3年生の職場体験での学びの発表を聴き、働くことについて考えを深める。(1) ①②地域以外にも範囲を広げ、他にもどのような職業があるのか調べる。(2) ③調べた職業の中から自分たちでインタビューしてみたい人を決める。(2)			夏休み前までに生徒にアンケートをとる 夏休み中にアポとりをする										
					評価方法	動画、観察		振り返り、観察		ワークシート		振り返り、観察		
小単元② 様々なプロフェッショナルに関わり、働くことへの意味やそれぞれの願いに気づこう														
9	小単元②様々なプロフェッショナルに関わり、働くことへの意味やそれぞれの願いに気づこう (34) ③取材の交渉を自分たちで行う。(3) ②インタビューの計画を立てる。(どんな人にも、どんな時間に、どのような方法で、どんなことを) (2) ②インタビューに向けて下調べを行ったり、インタビューの原稿を作成したりする。本番に向けて練習をする。(2)		◎芸西村で働く人 ・保護者の方 ・サンシャイン ・教員 ・茂井さん ・農家さん ・藤戸さん ・調理員さん ・藤戸さん ◎生徒が話を聞きたい職業の人 【働く意味を探る旅】～職業インタビュー編～(回答)	評価規準	たくさんの働く人や職業の方について話し合う活動を通して、働く上で大切なことは、やりがいとお金のバランスであったり、自分の支えとなるものためであったりなど多様な価値観があること、また仕事とは誰かのために役立っている、貢献していることに気づいている。	今まで関わってきた人に対して振り返る活動を通して、他にもどのような職業があるのかを調べたり、自分の興味がある職業の人の話を聞き取りたいという思いをもったりしながら、今後の取材計画を考えている。	様々なプロフェッショナルに取材する活動を通して、様々な仕事の下調べをしたり連絡を取れるのかを調べたり、自分の興味がある職業の人の話を聞き取りたいという思いをもったりしながら、今後の取材計画を考えている。	様々なプロフェッショナルについて共有する活動を通して、働くことについてウェビングで関係付けたり、共通点を見出したりしながら、働くことについての自分なりの仮説を決めている。	様々なプロフェッショナルから学んだことをまとめる活動を通して、最初の考えと比較してどのように変わったかや変容した要因をデータから分析したり、たくさんの人の意見をどのように取り入れて自分の考える働くとは？に至ったりしたのかをスライドで表現している。					
10	②それぞれのプロフェッショナルに來校してもらったり、リモートで話を聞いたりしながら、自分の働く姿をイメージしていく。(2) ③プロの方へのインタビューを通して、学んだことや心に残っていること、これからにつなげたいことをスライドにまとめる。(2)	主体性 協働性												
11	④個人が学んだことを班で共有し、班で良かった発表をクラス全体で共有する。相手の意見を聞く中で、自分の考えを深める。(2) ④自分にとっての働く意味をさらに深めるために、ここまで学習したこと、働くことについて考えたことをワークシートにまとめ、学級内で交流する。(1) ④働くことについて(働き方、大切にしたいこと、時間など)ポイントを絞り、自分にとっての働くことについてクラス全体で考える。(1) ②同じ村の馬路村について考える中で、自分の働き方について考えたり、なぜ馬路村で働き続けるのか頑張れるのかについて仮説を立てる。(1) ②馬路村へ向かい、「ごっくん馬路村」を作った歴史を知り、どう貢献しているか情報収集を行う。(5) ③今まで集めた情報の中から自分にとっての働く(なぜ働くのか?)について、ワークシートに記入しながら考えを深めていく。(2)													
12	④様々なプロフェッショナルについて前時にまとめたことや、働くことに対する思いをグループで伝え合う。(1) ①これまでの学習に関わってきた人たちにも聞いてもらいたいという思いをもって発表を見直す。発表内容を聞いてもらえない場合でも、インタビューを行った方へお礼状を通して、学んだことや感謝の気持ちを伝えることができるようにする。(4) ④これまでの学習に関わってきた人を招き、学習の成果を伝える。(4) ①これまでの学習を振り返る。(2)	知識	◎芸西村人材バンク ◎芸西村で働く人 ・かっぱ市 ・JA芸西支所 ・芸西郵便局 ・響屋 ・正義ラーメン ・天文台 ・芸西小学校 ・芸西幼稚園 ・仙頭酒造場	職場体験先をアンケートでとり、教員がアポをとるようにする	評価方法	振り返り、発言							観察、動画	
小単元③ 働く人のプロフェッショナル～自分もプロフェッショナルを目指して														
1	小単元③ 働く人のプロフェッショナル～自分もプロフェッショナルを目指して (14) ①調べたことを検証するためには、働くということを実際に体験してみる必要があることに気づく。(1) ①職場体験で「働くこと」について考えを深めるためにこれまでの学びをもとに探究テーマを設定する。(1) ②職場体験をする上で必要な情報を調べたり、保護者や教員に聞いたりして集めていく。(2) ③自分たちで職場体験先に受け入れのアポをとるために、調べた情報や行きたい理由を詳しくしながら電話原稿を作成する。(2) ③アポの電話をとる。(2) ③アポの電話で得た情報も含めながら、これまでの働くことに関しての学習を生かして職場体験スケジュールを作成していく。(2)	情報収集 将来展望 社会参画			評価規準	地域にある様々な職業に就く人々の思いを知ることや、働くことの意味、価値の認識の理解は、情報を多面的に見ながら働くことと自分たちの生活との関係を探求的に学んだことと成果であると感じ付いている。	働くことについて振り返る活動を通して、働くことを理解していくためには、体験する必要性があることに気づき、働く人々の思いや願いを知りたいという思いをもちながら、計画を立てている。	働くための準備を通して、働く上で必要なスキルや、仕事を体験できる場所やそこに関わる情報を選択し、収集している。	働くための準備を通して、自分が行く予定の職場体験スケジュールや、探究テーマを検証するための取材のタイミングなどを決めていく。	探究テーマの検証について、理科で培った研究仮説を立てる力や、国語科で培った構成や要約の力を活用して、相手や目的に応じてスライドを作成して発表している。				様々なプロフェッショナルとの出会いを企画する活動を通して、自分が今、興味のあることや将来に向けて働きたいと思える職業との出会いに期待を抱きながら、様々な職業の下調べをしたり、連絡先を探したりしている。
2	③アポの電話で得た情報も含めながら、これまでの働くことに関しての学習を生かして職場体験スケジュールを作成していく。(2)													
3	③体験を行う前の探究テーマに対しての質問項目を設定する。(2) ④職場体験先で学ぶことや仕事の内容をまとめた計画を先生方に発表して聞いてもらい、修正をかけた後、3年生に向けての職場体験へつなげていく。(2)	まとめ・表現 総合的な学習のよさの理解			評価方法	振り返り、原稿用紙		ワークシート		振り返り、観察、発言		振り返り、観察、発言		

【令和7年度芸西中学校】総合的な学習の時間 第3学年 年間指導・評価計画
 ※赤字の学習活動の際には、右表の**評価規準をもとに記録に残す評価**を行う

月	探究のプロセス①②③④+学習活動 () 時数 【探究のプロセス】①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現	評価項目	外部との連携 (人・もの・こと)	留意点	知識・技能			思考・判断・表現				学びに向かう力・人間性		
					知識	技能	総合的な学習のよさの理解	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	自己理解 他者理解	主体性 協働性	将来展望 社会参画
4	単元名 地域のまちづくりや活性化に取り組む人々の創意工夫と働く事の意味や願い (70) 小単元① 働く上で大切なことを知ろう (23) ①②2年生で学んだ「働くこと」の意義をふり返り、職場体験学習の目的を再確認する。(3) ・2年生で学習した内容を確認し、職場体験学習の計画を立てる。 ・職場体験学習の目的や日程を確認する。 ・電話のかけ方・話し方、職場への行き方を確認する。 ①探究テーマと質問事項を設定することで、体験の目的意識をもつ。(4) ・共通質問事項をみんなで話し合っ決めて。 ・ウェビングマップを使い、事業所に合った個人の探究テーマを設定する。	課題設定 技能	他学年の総合的な学習の時間の取組 職場体験先の各事業所 ・芸西幼稚園 ・ミスタードーナツ ・芸西保育所 ・TUTAYA野市店 ・株式会社フタガミHamart野市店 ・メルキュール高知土佐リゾート&スパ ・フジグラン野市 ・小さなヘアサロン本目 ・芸西小学校 ・薄屋 ・ペイショップフジムラ ・テラ動物病院 ・活魚レストラン藤	・事業所の定休日や営業時間をしっかり把握しておく。 ・事業所によっては、支援が必要な生徒の特性、対応の配慮をお願いする。	10のつきたい力	町づくりや地域活性化のために地域活動に参画することが、地域の新しい価値の創造につながっていることを理解する。	自らの行為が未来社会に深く関わっていること、地域の活性化について探究的に学んだことによる成果であると気付く。	問題状況の中から課題を発見、設定し、解決の方法や手順を客観的なデータをもとに考え、仮説をもとに計画を立てることができる。	目的や意図に合わせて、情報収集の手段を選択し、情報を適切に蓄積することができる。	収集した情報の視点を定めて分析したり、因果関係を推測したりすることができる。	他教科で培った表現力等を活用し、自分の意見や立場を明確にしながら、相手や目的に応じた効果的に表現することができる。	探究的な活動を通して、自分の生活を見直して、自分の特徴やよさを理解しようとする。また、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。	自分の意思で、目標をもって課題解決に向けた探究活動に取り組もうとする。他者と協働して取り組もうとする。	探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や目標をもとうとする。探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題解決に取り組もうとする。
5	②③実際の職場での体験やインタビューを通じて、働くことへの理解を深め、テーマに対する自分の視点を深めていく。(10) ・実際に働いてみて、感覚的な情報の収集をする。 ・職場の方にインタビューをし、共通質問事項や探究テーマについての情報を収集する。 ・しおりを完成させながら、学んだことを言葉にして感謝の気持ちを各事業所に手紙で伝える。 ・卒業生から進路の話聞き、職業選択と進路選択が繋がっていることを実感する。	情報収集	・安芸漁業協同組合 ・清月旅館 ・のいち動物公園	・現地のインタビュー(引率なし)：生徒の移動手段の確認(自転車、鉄道他)時間の確保、安全確保(保険の加入)、帰省の確認。	評価規準	職場体験活動やインタビューなどを実施する際に、自分の探究テーマに沿った計画を立てるとともに、相手や場面に応じた適切な方法で情報を収集している。	実際に働くまでの準備活動を通して、昨年度から行ってきた働くことというものの探究テーマを追究するために実際の日程や検証方法を確認しながら、計画を立てている。	職場体験活動を通して、探究テーマを追究するために、職場の方の話を聞いたり質問をしたりしてメモを取り、体験した感覚の情報も大切にしながら情報を収集している。	職場体験活動を通じて、マトリックス表を用いて情報を分類・比較したり、多面的に見たりしながら、レポートに使う材料や構成を決めている。	職場体験で学んだことをまとめる活動を通して、国語科で培った段落や文章を構成する力や、美術科で培った配色や構成の力を活用してスライドを作成している。	職場体験で学んだことを交流する活動を通して、自分の考えたことと友達の考えたことの違いを比較すること、自分の良い部分に気づいたり、友達の考えの良さに気づいたりしている。			
6	③④体験を通して得たことを整理し、働くことの意義や魅力を自分なりの言葉で表現する。(4) ・教師のスライドを参考に、検証方法・まとめ方を考える。 ・自身の体験と、2年生のインタビューや地域の人の話を比較し、気付きや学びをスライドにまとめる。 ・個人でスライドを完成させ全体で共有する。 ・中学2年生に向けて数名が発表し、学びを次の学年へつなぐ。	整理・分析 自己理解 他者理解		原稿とスライド(提示する資料)の効果的な活用方法を考えさせる	評価方法	動画、ワークシート		職場体験日誌		スライド、観察	振り返り、観察			
7	①②地域の働く人と自分を重ね、地域貢献の在り方について考える。(2) ・芸西村の課題と照らし合わせて、自分たちができる地域貢献案をピックアップし、まとめる。 小単元② 地域に貢献しよう (47)	まとめ・表現			評価規準									
9	①2年生の職場インタビューや3年生の職場体験学習を振り返り、「働くことの価値」や「誰かの役に立つ喜び」を再認識する。(3) ・小単元①のまとめをもとに、「芸西村の人に喜んでもらうこと」、「気持ちを届けること」が地域貢献につながることに気付く。 ・他校の地域貢献活動の事例をもとに、自分たちの地域貢献のイメージを広げる。 ・芸西村でアンケートを行い、何が芸西村の課題なのか確認する。 ①芸西村の課題と自分たちの関心を結びつけ、実現可能な地域貢献を考える視点をもつ。(3) ・芸西村の課題を班でホワイトボードに書き出し、出てきた案を分類する。 ・「SNS」「環境」「伝統」「異年齢交流」「おもてなし」の5つのグループに分かれる。 ・各自の関心や考えに応じてチームを組み、どんな活動ができそうか話し合っ計画を立てる。 ②地域の課題をもとに、村に貢献できる活動を考える。(5) ・芸西村の現状や課題を自分たちなりに整理し、どんな形で地域に貢献できるかを話し合う。 ・課題をもとに、対象者や活動内容、目的などの方向性をチームでまとめる。 ・「相手のニーズや困り感に添っているか」「実現可能か」「地域の人に喜ばれるか」などの視点で検討しながら、活動を決定する。 ②実現可能な企画書を作成し、事業所の方に伝えて意見をもらう。(5) ・活動案をもとに、目的・内容・準備物・分担などを整理し、企画書を作成する。 ・企画書をもとに、提案書を作成し、事業所の方に説明して、想いや意見を聞く。 ・事業所からの意見を受けて、自分たちの提案書を見直し、改善点を整理する。 ③事業所の助言をもとに、他者と協働しながら計画を改善する。(3) ・事業所からの想いを提案書に反映し、「相手のニーズや困り感に添っているか」「実現可能か」「地域の人に喜ばれるか」の視点で検討する。 ・事業所の方を招き、改善した提案書の内容を説明し、助言や意見交流を通してグループで活動案を改善する。 ・グループで協働して、活動を改善する。(2)	課題設定	・芸西村村長 ・教育委員会 ・校長先生 ・芸西村役場(企画振興課)(土木環境課) ・社会福祉協議会 ・かつば市 ・メルキュール高知土佐リゾート&スパ ・レストラン藤 ・土佐和紙芸村「くらうど」 ・鹿教製紙(株)	生徒の感じている課題と村の声の課題の違いには差があるかもしれないことも考慮する	評価規準	村を元気にする活動を村の職員の方たちが何日もかけて入念に準備や連絡を取り合ったりして行ってくれていること、芸西村に貢献するにはどんな必要なのか理解することができる。	自らの行為が未来社会に深く関わっていること、町づくりや地域の価値を見出して探究的に学んだことによる成果であると気付いている。	芸西村のために貢献する活動を通して、村の弱みを考えたり、アンケート結果から中学生に期待することの意見を集約したりする中で、今後取り組むべき課題を洗い出ししながら、今後の計画について見直しをもっている。	芸西村のために貢献する活動を通して、探究テーマに基づいて電話連絡や直接取材をしたり、インターネットなどの情報を活用したりしながら、情報を選択し、収集していく。	芸西村のために貢献する活動を通して、各グループが保健体育(高齢者と元気に楽しく体操レクリエーション)、国語(未来の子ども達に村ってすごいよPR)、数学(データの活用)など各教科で培った力をそれぞれ活用して表現している。	芸西村のために貢献する活動を通して、自分ができることは何かを考えたり、友達や地域の方と協働したりしながら、芸西村ハッピープロジェクトの準備をしている。	芸西村のために貢献する活動を通して、自分が今後芸西村のためにできることを考えたり、自ら進んで課題解決に向かったりしながら、グループでの話し合いを進めている。		
10	④地域貢献活動を実際に行い、「社会の一員としての自分の役割や影響」を実感する。(10) ・活動の目的や効果を客観的に見直すため、事業所に渡すアンケートをチームで作成する。 ・地域貢献の看板や掲示物を作成する。 ・チームごとに、実際に地域貢献活動を実践する。	知識 整理・分析		SNSグループは役場との連携が難しい。動画を作成しても色々と条件があったためインスタに載せることはできなかった。	評価規準									
11	③活動の成果や反応を振り返る中で、自分の行動が地域にどう貢献したかを考える。(4) ・活動後、アンケートを回収し、自分たちの行動が地域にどのように受け止められたかを振り返る。 ・以下の観点で文章を整理し、振り返りで共有する。 ①地域との関わり方の深まり、活動を通して身についた力、地域への具体的な貢献 ②山の学習の一環で町の町へ行く。(4) ・山の恵みや自然の大切さについて学び、いの町が学んできた歴史と芸西村を比較してこれからの芸西村について考える。	将来展望 社会参画 主体性・協働性			評価方法	観察、振り返り					観察、振り返り	観察、振り返り		
12	②自分たちが課題だと思っているゴミ拾いを行い、どのくらい芸西にゴミがあるのか調べる。(4) ・地域貢献をした事業所に関いたり、ゴミが多そうなどところに行ったりして芸西村のゴミの状況を確認する。	情報収集	・芸西村役場(企画振興課)(土木環境課) ・社会福祉協議会 ・かつば市 ・メルキュール高知土佐リゾート&スパ ・レストラン藤	・収集前に分別のことも考えてビニール袋の枚数を準備する。拾って持ち帰ったゴミの分別や処理の仕方も考えておく。手袋は全員、金銭もあつた方がよい。拾うときは周囲の安全面を監視する教員の引率が必要。(特に道路脇の溝など自動車の接近に気づきにくい) ・道徳との連携でゴミ拾いを2学期末にすることになったが、9月から地域貢献の一環としてゴミ拾いを視野に入れておくことも考えてもいい。	評価方法	観察、振り返り								
1	④探究を通して得た学びを今後の生き方や進路に生かす。(4) ・最後に、自分たちで設定した探究テーマを振り返り、学びのまとめを行う。 ・この活動を集会で発表し、後輩に伝えていく。	総合的な学習のよさの理解			評価方法	振り返り、原稿用紙	振り返り、観察、発言	振り返り、発言			観察、振り返り	観察、振り返り		
3					評価方法	観察、振り返り	振り返り、観察、発言	振り返り、発言			観察、振り返り	観察、振り返り		